



SR-S990 ビデオカセットレコーダー

はじめに

名称と
はたき

接続

オート
メニュー

準備

録画

特殊
再生

対
応

別
売

付
録

ビデオカセットレコーダー

型名 **SR-S990**

Super VHS ET S-VHS

TIMELAPSE

取扱説明書

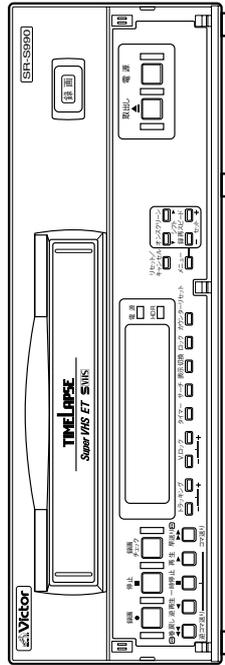
お客様ご相談センター

東京
電話 (03) 5684-9311 [代表]
FAX (03) 5684-9317
〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

大阪
電話 (06) 6765-4161 [代表]
FAX (06) 6765-4891
〒543-0028 大阪府天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

日本ビクター株式会社

システムネットワーク事業本部 電話 (0426) 60-7203
〒192-8620 東京都八王子市石川町2969-2
電話 (03) 3663-9054
東京都中央区日本橋浜町2-1-1 (田辺ビル)



お買い上げありがとうございます。
ご使用前の間にこの「取扱説明書」と添付の「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機のリアパネル部に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

このたびはビデオカセットレコーダー SR-S990 を お買いあげただきありがとうございます。

SR-S990の機能をフルに生かすためこの“取扱説明書”および添付の“安全上のご注意”をよくお読みいただきますようお願いいたします。

おもな特長

- **S-VHS/S-VHS ET 録画**
録画モードはS-VHSおよびS-VHS ETを採用。S-VHS ET録画モードの採用によりVHSカセットテープにおいても水平解像度400本を実現しました。なお、VHSモードは再生のみ可能です。
- **最長960時間の長時間間欠録画**
1. (SPモード)・6 (EPモード)・L12/L18/L24/48/72/84/120/168/240/480/960タイムラプスモードから記録設定できます。但し、S-VHS ET録画ではL12/L18/L24の選択はできません。
- **高密度録画 (HDR 録画) 機能**
EPヘッドを用いて、細かなピッチでテープを送り、タイムラプス録画します。
通常のタイムラプス録画に比べて、同じ間欠録画時間内で約3倍の情報を録画するため、よりまかな状況を確認できます。ただし、画質は通常タイムラプスモードよりも劣ります。
- **テープに記録できる時間は通常タイムラプス録画と同じです。**
(メニュースイッチ「HDR 録画」で選択)
- **アラーム録画機能**
録画時にアラーム信号が入力されるとメニュースイッチで設定したテープに自動的に切り換わります。アラーム録画時間は、5、10、15、30、60、120、180秒、テープ終端、メニューアルの中から選択できます。
- **アラーム録画の開始時点には、アラームキュー信号としてインデックスコードを記録、アラーム録画箇所の呼び出しが簡単にできるアラームサーチ機能を搭載しています。**
- **センサー録画**
停止モード時 (停止、タイム録画待機、電源切状態)、アラーム信号が入力されると録画状態になります。
- **タイムアウトジェネレーター**
録画と同時に、年、月、日、時、分、秒を記録可能なタイムタイムジェネレーターを搭載し、また、アラーム回数とアラーム時間、電源回数と電源時間をモニターに表示できます。
- **タイムラプス録画機能**
毎日、毎週、ウィークデーのタイムラプス録画を8プログラムまで設定できます。
また、年間16日まで、休日など指定した日付でのタイムラプス録画を設定できます。
- **テープ位置検索機能**
サーチモードの選択により、アラーム録画開始部分の頭出しや一覧、および指定した日・時・分の録画部分の頭出しができます。
- **録画チェック機能**
録画中に録画チェックボタンを押すと録画状態の確認が行なえます。

● シークレックロックシステム採用
不意の誤操作や故意の悪戯を未然に防止できるシークレックロックシステムを採用。

● カメラ切替信号出力端子
シンケンシヤルスイッチャーを使用して、カメラ切替信号出力端子により複数台のカメラ映像を自動的に切り替えて録画を行なえます。

● 異常検知機能
つゆつみや、カセット取り出し、テープローディング、回転系の動作モード異常時にフロントパネルにエラー表示します。

● パワーオフビデオスループ機能
電源OFF時でもカメラからのEE入力を出力できます。

● シリウス録画機能
本機を複数台接続することで長時間の録画が行なえます。

● 停電復帰録画
停電後、自動的に停電前の録画モードで録画を再開します。

● タイムアジャスト機能
タイムアジャスト用にIN/OUT端子を装備し、本機を複数台接続して常に、時間誤差を“0”にすることが可能です。
(アジャスト信号出力時刻AMI2:00PM12:00)

● デジタルアルワーメーター表示

● リピート再生/録画

● アラーム録画、テープエンドおよびワーニング電子ブザー

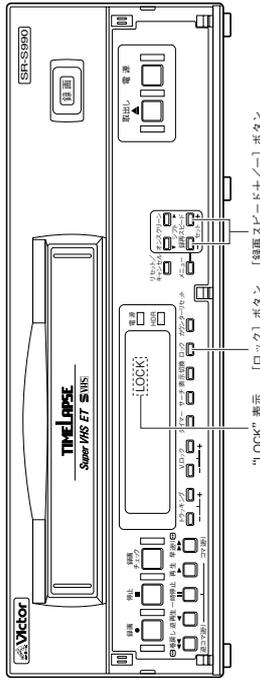
● 外部起動信号による録画制御可能

● カウンターエント機能

● 外部タイマー接続可能

● ACアダプトレット装備 (最大供給電力300W)

● ワイヤードリモコンRM-G30 (別売) 接続可能



1. 本機を録画や再生などオペレーションロックしたいモードにします。
2. [ロック] ボタンを先に押しながら[録再スピード+]または[録再スピード-] ボタンを押すと、ディスプレイ部に「LOCK」表示し、オペレーションロック状態になります。
3. 解除するには、[ロック] ボタンを先に押しながら「録再スピード+」または「録再スピード-」ボタンを押します。ディスプレイ部の「LOCK」表示が消灯し、本機は操作可能状態になります。

※ 防犯上のため、このシートは切取って保存しておかれることをおすすめします。

目次

| | | | | | |
|------|-----------------------|----|------|-------------------------------------|----|
| 第1章 | はじめに | 6 | 第7章 | 再生・特殊再生について | 45 |
| 1-1 | 定期保守点検について | 6 | 7-1 | 再生時の設定について | 45 |
| 1-2 | 日常点検について | 6 | 7-2 | 再生のしかた | 45 |
| 1-3 | 正しくお使いいただくためのご注意 | 7 | 7-3 | 特殊再生のしかた | 46 |
| | | | | ・静止画再生/コマ送り再生/速再生 | 46 |
| | | | | ・シャトルサーチ再生のしかた | 47 |
| 第2章 | 各部の名称とはたらき | 8 | 7-4 | アラームサーチ/日時サーチのしかた | 48 |
| 2-1 | フロントパネル部 | 8 | 7-5 | リビート再生 | 50 |
| 2-2 | ディスプレイ部 | 10 | 7-6 | カウンターメモリーについて | 50 |
| 2-3 | リアパネル部 | 11 | 7-7 | トラッキング/V.ロック調節のしかた | 51 |
| | | | 7-8 | V.バルスについて | 51 |
| 第3章 | 接続のしかた | 13 | 第8章 | トラブル時の対応 | 52 |
| 3-1 | カメラ1台との接続 | 13 | 8-1 | エラー表示の出ないトラブル | 52 |
| 3-2 | シーケンシャルスイッチャーを使ったシステム | 14 | 8-2 | エラー表示の出ないトラブル | 53 |
| 3-3 | 背面、ハーモニカ端子の接続 | 15 | 第9章 | (別売) SA-K97 RS-232C インターフェースボードについて | 54 |
| 第4章 | オンスクリーン/メニュースイッチについて | 16 | 9-1 | SA-K97の取付 | 54 |
| 4-1 | オンスクリーン表示について | 16 | 9-2 | SA-K97の仕線 | 55 |
| 4-2 | メニュー表示について | 17 | 9-3 | SA-K97 RS-232C プロトコル&コマンド | 55 |
| 4-3 | 日付・時刻設定のしかた | 18 | 第10章 | 付録 | 61 |
| 4-4 | アラーム表示 | 19 | 10-1 | テープリールカウンター/テープ残量対応表 | 61 |
| 4-5 | アラーム入力/停電テータ表示 | 20 | 10-2 | 背面パネルハーモニカ端子信号について | 62 |
| 4-6 | メニュースイッチ設定のしかた | 21 | 10-3 | 保証とアフターサービスについて | 63 |
| 4-7 | メニュースイッチの内容 | 22 | 10-4 | 仕様 | 63 |
| 第5章 | 準備 | 26 | | | |
| 5-1 | カセットの出し入れ | 26 | | | |
| 5-2 | 録画/再生スピードモードの選び方 | 27 | | | |
| 第6章 | 録画のしかた | 28 | | | |
| 6-1 | 録画時のスイッチ設定 | 28 | | | |
| 6-2 | 録画の基本操作 | 29 | | | |
| 6-3 | タイムー録画のしかた | 30 | | | |
| | ・タイムープログラム予約設定 | 30 | | | |
| | ・休日タイムー録画設定 | 34 | | | |
| | ・タイムー録画予約の取消/変更 | 35 | | | |
| | ・タイムー録画時のご注意 | 36 | | | |
| 6-4 | アラーム録画のしかた | 37 | | | |
| 6-5 | センサー録画のしかた | 39 | | | |
| 6-6 | シリーズ録画のしかた | 40 | | | |
| 6-7 | リビート録画のしかた | 42 | | | |
| 6-8 | 外部のVTR起動信号による録画のしかた | 43 | | | |
| 6-9 | 停電復帰録画のしかた | 44 | | | |
| 6-10 | 外部タイムー録画 | 44 | | | |
| 6-11 | テープエンド警告ブザーについて | 44 | | | |

第1章 はじめに

1-1 定期保守点検（メンテナンス）について

ビデオカセットレコーダーは、精密な機構部品で構成されています。本機を業務用としてお使いの場合は、計画的なメンテナンスが必要です。メンテナンスの計画の際には必ず内容について記載していただきますので良くお読みの上、本機を永くご愛用ください。

- メンテナンスとは
レコーダーの場合のオイル交換やタイヤの交換に相当するもので、長期間の使用に際して必ず必要となるものです。ビデオカセットレコーダーの場合も同様で、メンテナンスをしないで使用を続けると

- ・録画や再生ができなくなる
- ・画像や音声が見れる
- ・ワーニング（動作停止）になる

などの故障になります。これらの故障は消耗部品の消耗や劣化（変形、変質）が原因であることが多く、また、保証期間内であっても消耗部品による修理は有償になります。その上、突然の故障発生のため業務に支障を及ぼすだけでなく、場合によっては貴重なビデオテープの損傷につながることもあります。なお、保証期間の内容などについては、保証書をご覧ください。

- 使用時間の管理
家庭用のビデオカセットレコーダーの通常の使用頻度で5～6年分に当たる使用時間が業務用では5～6ヶ月で達することもあり、また、使用時間の管理が大切です。1日当たりの使用時間ごとの経過月数における累積使用時間は次のようになります。目安としてご覧ください。

| 1日の使用時間 | 1ヶ月 | 2ヶ月 | 3ヶ月 | 6ヶ月 | 12ヶ月 |
|---------|-----|------|------|------|------|
| 2時間 | 60 | 120 | 180 | 360 | 720 |
| 8時間 | 240 | 480 | 720 | 1440 | 2880 |
| 12時間 | 360 | 720 | 1080 | 2160 | 4320 |
| 24時間 | 720 | 1440 | 2160 | 4320 | 8640 |

- 一部の時間を経過したらメンテナンスをご検討ください。

使用時間の算出

家庭用のビデオカセットレコーダーの表示でより正確に確認できます。

アワーメーターの表示



アワーメーターはドラム使用時間をモニター画面にオンスクリーン表示します。アワーメーター表示のしかたは、19ページ「使用時間（アワーメーター）について」をご覧ください。

- ・使用時間管理の目安としてください。

●メンテナンスの内容

使用時間によって次のような機構部品の清掃、点検または交換を実施します。

| 使用時間 | 1000H | 2000H | 3000H | 4000H |
|--------------|-------|-------|-------|-------|
| ドラム組立（ヘッド含む） | △ | ○ | ○ | ● |
| ピンチローラー | △ | ○ | ○ | ● |
| 駆動部品 | △ | △ | △ | ○ |

実施内容は機種、使用環境、使用方法によって大きく異なることがあります。目安としてお考えください。

- 本機には【録画チェック】ボタンによる録画チェック機能も備えています。日常的な確認にご利用ください。

●メンテナンスのご相談は

メンテナンスの計画、費用などのご相談は、ご購入先の販売店または、別紙のサービス窓口案内をご覧ください。サービスセンターへお問い合わせください。

1-2 日常点検について

本機は長時間の使用は可能ですが、日常点検によって異常なように使用されることをおすすめします。特に、リビート録画の場合は日常点検を怠らざるにしてください。

●点検の手順

1. 本機と、カメラ、モニターテレビなど監視システムの電源を入れます。
2. モニターテレビに正しい映像が出ているか。
3. モニターテレビの目付、時刻表示画面の目付、時刻が合っていますか。
4. 前日、録画したテープを数時間（数カウント）巻戻します。

点検後、万一、異常が確認されたときは電源を切り電源コードをコンセントから抜いた後、お買い求めの販売店にご相談ください。

第1章 はじめに（つづき）

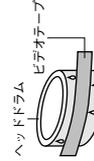
1-3 正しくお使いいただくためのご注意

取扱いや保管場所について

- つかのような場所での使用は避けてください。
 - ・極端に動いところや寒いところ
 - ・強い磁気や電波の発生するところ
 - ・ゴミ、ほこりや湿気の多いところ
 - ・振動の激しいところ
 - ・温度差の激しいところ
- 本機を立てて使用しないでください。
 - ・機器内部で温度上昇を防ぐため、本機の通気孔をふさいだり、機器を重ねて使用しないでください。
 - ・テープを傷める原因となります。
- 節電のため使用しないときは電源を切ってください。
 - ・「つゆつき」をおこしそうなときはあらかじめVTRの電源を入れておくこと「つゆつき」がおおきくなくなります。
 - ・「つゆつき」が起きてしまったら本機はつゆつき状態になると、自動的にカセットをイジェクトし、ディスプレイ部にエラー表示「E-08」を点滅表示します。このとき、本機の操作は受け付けません。電源を入れ、状態がディスプレイ部の「E-08」表示が消灯するのを待ってご使用ください。

つゆつき（結露）について

- 「つゆつき」とは
 - ・よく冷えたビームコップにつくと、コップのまわりに水滴が付きます。この状態を「つゆつき」（結露）といいます。つゆつき状態になると、VTRのヘッドドラムのまわりに本油が付着し、テープが貼りついて、テープを傷めてしまいます。
 - ・「つゆつき」はこんなときにおきます。
 - ・VTRを冷たいところから、急に暖かいところに移動したとき
 - ・暖房した直後の部屋やエアコンなどの直接冷風のあたるところ
 - ・湿度の多いところ

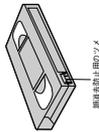


ビデオカセットについて

※タイムラプスは長時間記録を行いますので、耐久性のあるテープを使用する必要があります。S-VHSテープは下記のテープをご使用ください。

- ・ビクター：ST-120LITE
- ・Fuji：ST-120PRO

また、VHSテープもT-120など120分以下のテープをお使いください。



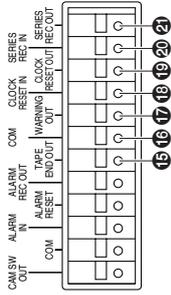
本機には**S-VHS**マークのついたビデオカセットをご使用ください。

S-VHS ET録画について

- ・本機に搭載されているS-VHS ET録画はVHSテープを使ってS-VHS並みの画質（水平解像度400本）を実現する機能です。この機能はVHSテープを本機に入れて録画すると自動的に行われます。本機では通常のVHS録画は行なえません。
- ・S-VHS ET録画は、リニアスロー（L12/L18/L24）モードで行なえます。
- ・S-VHS ET録画したテープの再生は本機、S-VHSまたはS-VHS簡易再生機能（SQRB）付きのビデオデッキで行なえます。（一部のビデオデッキでは再生できない場合があります）
- ・S-VHS ET録画にはビクター製HG（ハイグレード）タイプのVHSテープの使用をお勧めします。テープの特性によっては正常に録画できないことがありますので、試し撮りを行ない、画質に異常がないことを確認してからお使いください。
- ・S-VHS ET録画したテープを正常に再生できないVHSデッキに知らずに入ると故障と間違えることとさせるため、S-VHS ET録画とVHS録画の区別ができるようカセットにラベルを貼って保管することをお勧めします。
- ・カーチ再生など、テープに負荷のかかる操作はできるだけお避けください。画質の劣化や再生時に画面上にノイズがでることがありますが、故障ではありません。

第2章 各部の名称とはたらき (つづき)

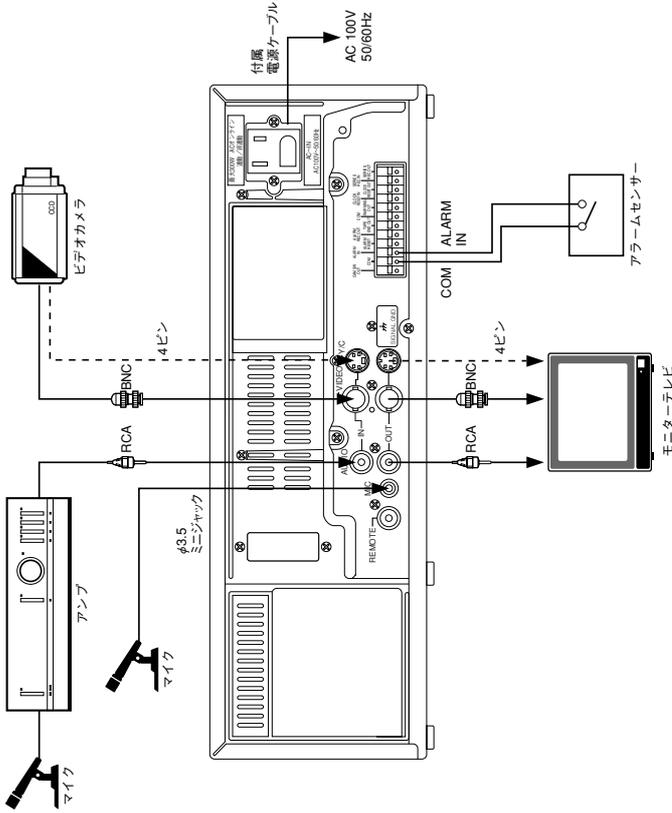
2-3 リアパネル部 (つづき)



- 17 [TAPE END OUT]** テープエンド信号出力端子
録画時、テープがテープ終端になった時、信号を出力します。
また、シリーズ/外部録画設定メニュースイッチ「カウンターエンード出力」が設定されている場合、設定されているテープリールカウンターの値を越えた時、信号を出力します。
・録画時、+12Vの信号を出力し、テープが終端になった時または、設定されているカウンタ値を越えた時0V (GNDレベル) 信号を出力します。
・オートリール録画中またはオートリールモードの録画中、テープが終端まで来ると、約2秒間0V信号を出力します。
・外部のアラームランプやブザーと外部インターフェースを介して接続してください。
・出力を取り消したいときは、カセット取り出しボタン、再生ボタン、早送りボタン、巻戻しボタンのいずれかを押ししてください。
- 18 [COM]** コモンラウンド端子
共通ラウンド端子です。接続する機器の信号グラウンドと接続します。
- 19 [WARNING OUT]** ワーニング信号出力端子
テープ走行や、メカ動作で異常があったとき (+12V) の信号が出力されます。
- 20 [CLOCK RESET IN]** クロックリセット入力端子
マスター時計または他のSR-S990の [CLOCK RESET OUT] 端子と接続します。クロックリセット信号を入力することでマスター時計や他のSR-S990の時刻に合わせることができます。ただし、時刻の差が±30秒以内であることが必要です。クロックリセット信号が入力されると、本機の時計は次のようにリセットされます。
・秒の値が29秒以下の場合、分の値はそのまま秒の値が0秒にリセットされます。
・秒の値が30秒以上の場合、秒の値が00秒にリセットされ、分の値が繰り上がります。
- 21 [CLOCK RESET OUT]** クロックリセット出力端子
クロックリセット信号を出力する端子です。
クロックリセット信号は次の時に出力します。
・本機内部の時計が000、12:00の時
他のSR-S990の [CLOCK RESET IN] 端子と接続すること
で他のSR-S990の時計を本機の時刻に合わせることができ
ます。ただし、時刻の差が±30秒以内であることが必要で
す。
- 22 [SERIES REC IN]** シリーズ録画/外部録画信号入力端子
シリーズ録画信号または外部制御機器からのVTR起動信号
を入力する端子です。
入力信号はシリーズ/外部録画設定メニュースイッチで選
択します。
■シリーズ録画入力
シリーズ/外部録画メニュースイッチが「シリーズ」に設
定されている時、シリーズ録画信号が入力されます。
・他のVTRのシリーズ録画信号出力端子と接続します。
・先に録画しているVTRのテープが終わりになると、この
端子に信号が送られ自動的に録画を始めます。
メニュースイッチ「カウンターエンード出力」が設定されて
いる場合、設定されているテープリールカウンターの値に
なると、信号が送られ、自動的に録画を始めます。
■VTR起動信号入力
シリーズ/外部録画メニュースイッチが「外部」に設定さ
れている時、外部からのVTR起動信号により、記録の開始
と停止を行なえます。
・外部制御機器と接続します。
この端子にVTR起動信号 (接地入力) が送られると自動
的に記録を始め、VTR起動信号が入力されている間、記
録を続けます。
- 23 [SERIES REC OUT]** シリーズ録画信号出力端子
シリーズ録画するときの信号出力端子です。
シリーズ/外部録画メニュースイッチが「シリーズ」に設
定されている時、シリーズ録画信号を出力します。
・他のVTRのシリーズ録画信号入力端子と接続します。
・本機で録画しているテープが終わりになると、この端子
から信号を出力します。
シリーズ/外部録画設定メニュースイッチ「カウンター
エンード出力」が設定されている場合、設定されている
テープリールカウンターの値になると信号を出力します。

第3章 接続のしかた

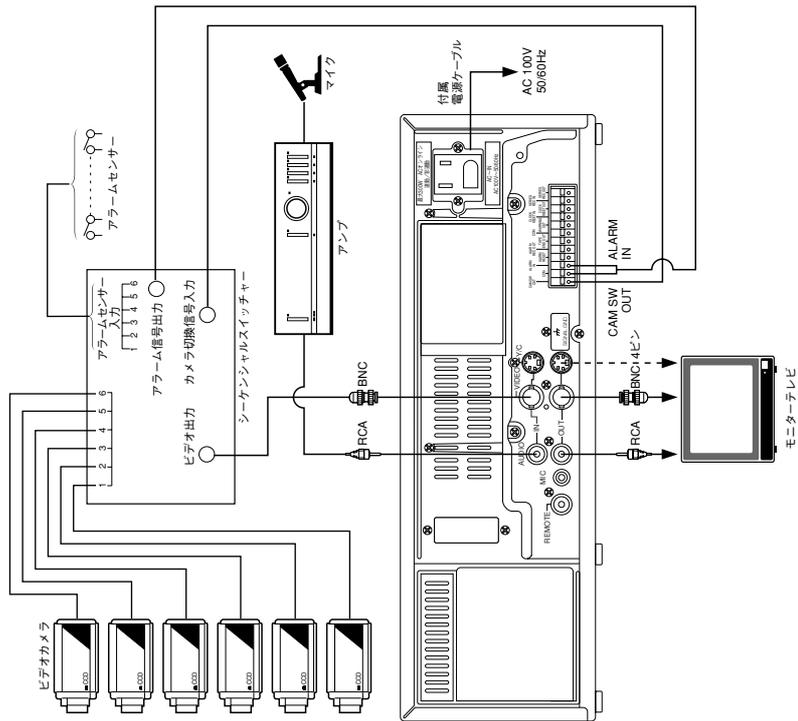
3-1 カメラ1台との接続



1. モニターテレビのビデオ・オーディオ入力端子と本機のビデオ・オーディオ出力端子をそれぞれ接続します。
2. ビデオカメラのビデオ出力端子と本機のビデオ入力端子を接続します。
3. オーディオ入力端子にはマイクアンプ経由で音声を入力してください。
4. アラームセンサーを接続する場合は本機のアラーム入力端子へ接続します。
5. 接続が終了したら電源プラグをAC100V50/60Hzのコンセントへ接続します。

第3章 接続のしかた (つづき)

3-2 シーケンシャルスイッチャーを使ったシステム

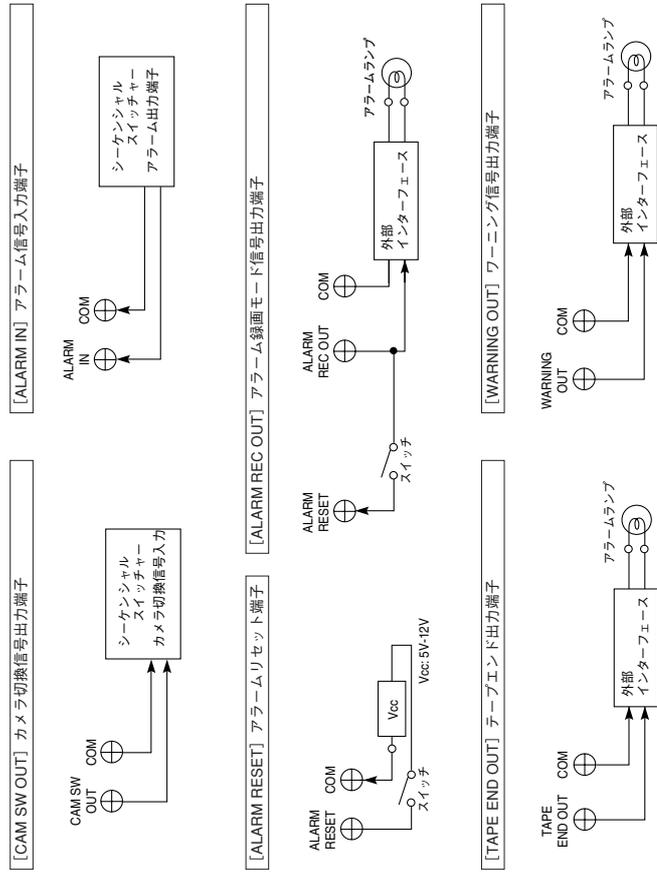


1. シーケンシャルスイッチャー（フレームスイッチャー）にビデオカメラおよびアラームセンサーを接続します。
2. シーケンシャルスイッチャー（フレームスイッチャー）のアラーム信号出力、カメラ切換信号入力、およびビデオ出力を本機に接続します。
3. モニターテレビのビデオ・オーディオ入力端子と本機のビデオ・オーディオ出力端子をそれぞれ接続します。
4. 接続が終了したら電源プラグをAC100V50/60Hzのコンセントへ接続します。
5. 接続したカメラに同期をとってください。
6. シーケンシャルスイッチャー（フレームスイッチャー）のカメラ切換信号入力端子とSR-S990を接続した場合、メニュースイッチ「CAMERA SW」の設定を行なってください。

※ シーケンシャルスイッチャーTK-D800を使用される場合、本機のアラーム/センサー録画設定のメニュースイッチ「録画モード」が「センサー」または「ALL」になっていると、TK-D800の電源をONにした直後、センサー録画に入ります。TK-D800との接続でセンサー録画を行なう場合は、TK-D800の電源を立ち上げた後、本機のアラーム/センサー録画設定のメニュースイッチ「録画モード」を「センサー」または「ALL」にしてください。

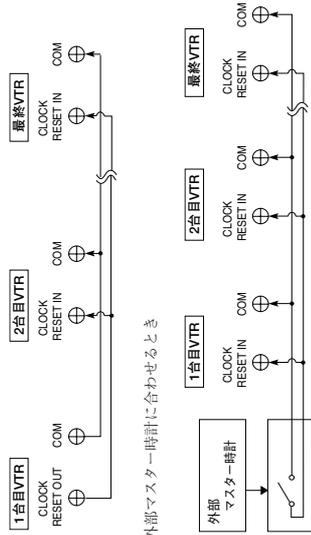
第3章 接続のしかた (つづき)

3-3 背面パネル ハーモニカ端子の接続

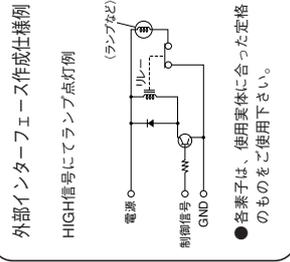


[CLOCK RESET] クロックリセット端子

- 1台目VTRの時計に合わせるとき



- 外部マスター時計に合わせるとき



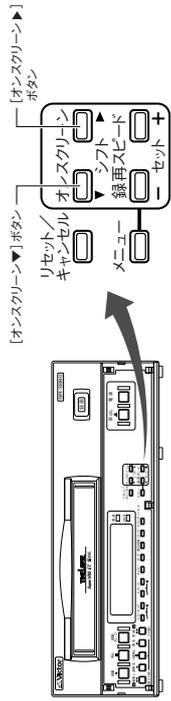
外部インターフェース作成仕様例
HIGH信号にてランプ点灯例
(ランプなど)

- 各素子は、使用実体に合った定格のものをご使用下さい。

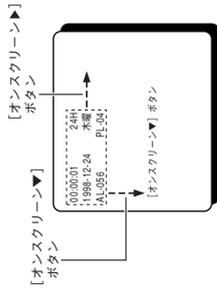
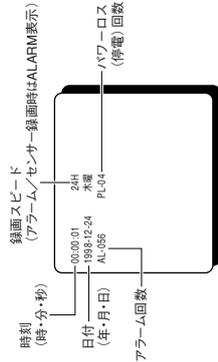
第4章 オンスクリーン/メニュースイッチについて

4-1 オンスクリーン表示について

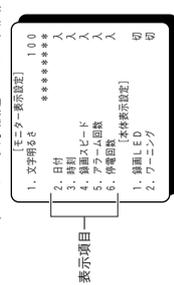
本機はタイムデマド（日付・時刻）、録画スピード、アラーム回数およびパワーロス（停電）回数をオンスクリーン表示します。停止モード、録画モードおよび録画一時停止時、オンスクリーン表示します。
録画時は映像信号と共にオンスクリーンデータを記録します。
・オンスクリーン表示位置は「オンスクリーン」ボタンで移動できます。
・オンスクリーン表示の内容や明るさはモニター/本体表示設定メニューの項目で選択できます。



(オンスクリーン表示)



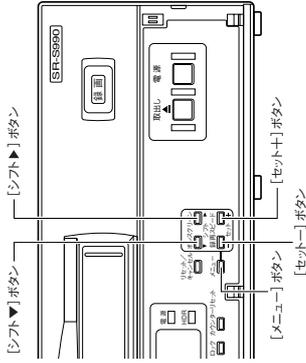
(モニター表示設定メニュー画面)



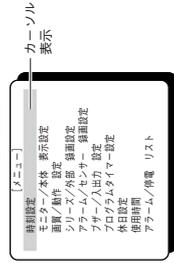
第4章 オンスクリーン/メニュースイッチについて (つづき)

4-2 メインメニュー表示について

本機はアラーム入力や停電が発生した時の日付・時刻データやアラームメーカー（ドラマ使用時間）をメインメニュー画面での選択により、オンスクリーン表示させることができます。
また、メインメニュー画面での選択により、日付・時刻設定、使用目的に合わせた設定を行なうためメニュースイッチ設定、タイムラインのプログラム設定等の設定画面をオンスクリーン表示します。日付・時刻設定、メニュースイッチ設定、アラームメーカーは本体ディスプレイでも確認できます。



(メインメニュー画面)



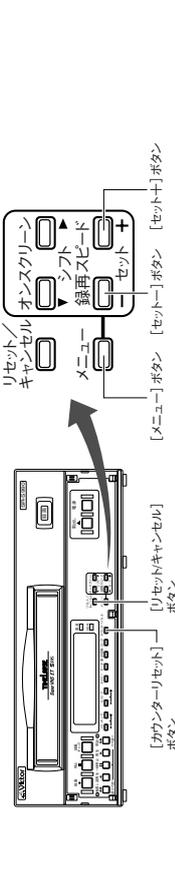
メインメニュー項目の内容

- 時刻設定：(本体ディスプレイ表示 cl 5Et)
日付・時刻設定画面を表示します。
※ご使用時、始めにこの設定を行なってください。
(参照 18 ページ)
- モニター/本体表示設定：(本体ディスプレイ表示 d 15P)
オンスクリーン表示の項目や明るさの選択および本体の [録画]インジケータやワーニング表示の有無を選択します。
- 画質/動作設定：(本体ディスプレイ表示 u dEo)
通常再生時のV、パルス信号付加の有無やHDR (高密度)録画、カウナーメモリー機能、リビート録画/再生などVTRの動作設定をするためのメニューです。
- シリーズ/外部録画設定：(本体ディスプレイ表示 5r, Et)
シリーズ録画や外部からの信号による自動録画機能に関するメニューです。
- アラーム/センサー録画設定：(本体ディスプレイ表示 R1 5En)
アラーム録画やセンサー録画の動作設定をするためのメニューです。
- プザー/入力設定：(本体ディスプレイ表示 bl22 1o)
テープエントラプザ、アラーム/センサープザーなど、プザーの入力切選択およびカメラ切映信号出力、AC出力端子の連動/非連動などを設定するメニューです。
- プログラムタイマー設定：(本体ディスプレイ表示 P.r.f)
タイムラインのプログラム設定画面を表示します。
曜日による各種プログラム設定が可能です。
- 休日設定：(本体ディスプレイ表示 Hol, dy)
休日など指定した日付のタイムライン録画プログラム設定画面を表示します。
- 使用時間：(本体ディスプレイ表示 Hour)
本機の使用時間 (ドラマ使用時間) を表示します。
- アラーム/停電リスト：(本体ディスプレイ表示 oLErE)
アラーム入力や停電があった日付・時刻データを表示します。

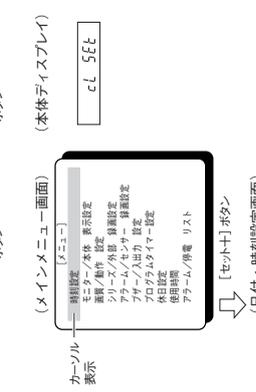
第4章 オンスクリーン/メニュースイッチについて (つづき)

4-3 日付・時刻設定のしかた

タイムラプスジェネレーターおよびタイムリコーダーは日付・時刻が設定されていないと動作しません。年・月・日と時・分を時刻設定画面で設定します。設定は本体ディスプレイでも確認できます。



- 操作**
1. 本機およびモニターテレビの電源を入れます。
 2. [メニュー] ボタンを押して、モニターにメインメニュー画面を表示させます。
 3. [シフト] ボタンを押してメインメニューの [時刻設定] にカーソル表示を合わせます。
 4. [セット] + または - ボタンを押します。
→モニターに日付・時刻設定画面を表示します。
 5. [セット] + または - ボタンを押して "時" を設定します。(時刻は24時間表示)
・ [セット] ボタンを押すと数値は大きくなり、[セット-] ボタンを押すと小さくなります。(分、年、月、日設定時も同様です。)



± 29秒以内の時刻合せについて

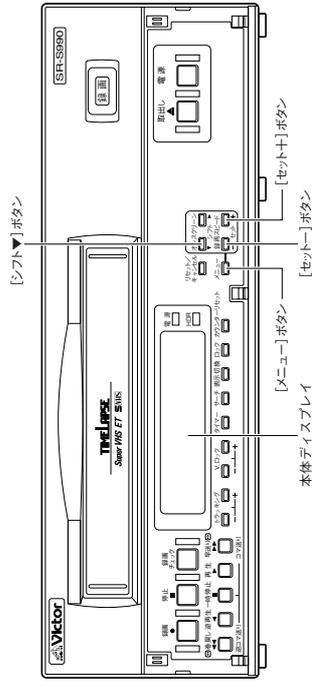
- 秒の値が29秒以内の時、次の操作で秒の値を00秒にリセットできます。
- [リセット/キャンセル] ボタンを押しながら [カウンターリセット] ボタンを押します。
- ※ 30秒以上の場合は秒の値が00秒にリセットされ、分の値が繰り上がります。

- ・ 長時間、電源コンセントを抜いた場合は使用前に現在時刻を確認してください。(使用環境により、時刻がズレる場合があります。)
- ・ 内蔵のバックアップ用バッテリーの容量が少なくなると、ディスプレイ部にエラー表示 "E-10" を表示します。

内蔵バッテリーの交換は最寄りのビクターサービス窓口にご相談ください。

第4章 オンスクリーン/メニュースイッチについて (つづき)

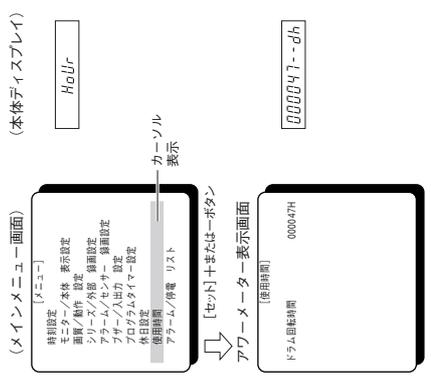
4-4 アワーメーター表示



本機はアワーメーターとしてドラム使用時間をモニターにオンスクリーン表示します。本体ディスプレイにも表示します。メンテナンスのための目安としてご利用ください。

操作

1. 本機とモニターテレビの電源を入れます。
2. [メニュー] ボタンを押して、モニターにメインメニュー画面を表示させます。
3. [シフト+] ボタンを押してメインメニューの [使用时间] にカーソル表示を合わせます。
4. [セット] + または - ボタンを押すと、モニターにアワーメーター (ドラム使用時間) を表示します。
5. 通常画面に戻るときは [メニュー] ボタンを2回押します。



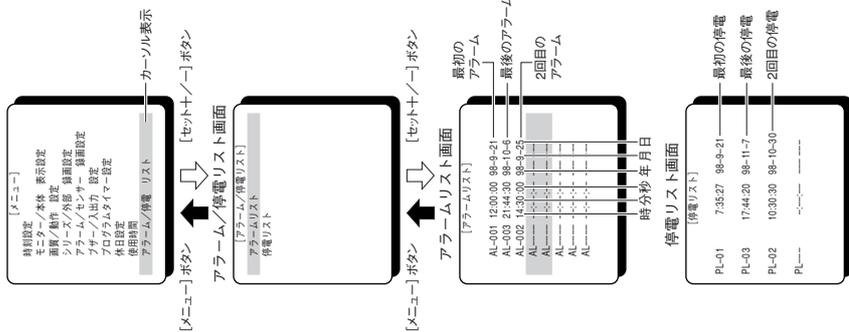
第4章 オンスクリーン/メニュースイッチについて (つづき)

4-5 アラーム入カ/停電データ表示

アラーム入カや停電があった日付・時刻データを表示します。
アラーム入カデータは8回分、停電データは4回分表示します。

操作

1. 本機とモニターテレビの電源を入れます。
2. [メニュー] ボタンを押して、モニターにメインメニュー画面を表示させます。
3. [シフト▼] ボタンを押して、メインメニューの [アラーム/停電リスト] にカーソル表示を合わせます。
4. [セット] ボタンを押して、アラーム/停電リスト画面を表示させます。
5. [シフト▼] ボタンを押して、表示したい項目 (アラームリストまたは停電リスト) にカーソル表示を合わせます。
6. [セット] ボタンを押して、アラームリスト画面を表示します。
アラームリスト: 8回分のデータを表示します。9回以上データがあった場合、2回目以降の古いデータが消え、新しいデータに書き変わります。
7. 通常画面に戻るときは [メニュー] ボタンを3回押し、[メニュー] ボタンを1回押し、アラーム/停電リスト画面に戻り、もう1回押しとメインメニュー画面に戻ります。

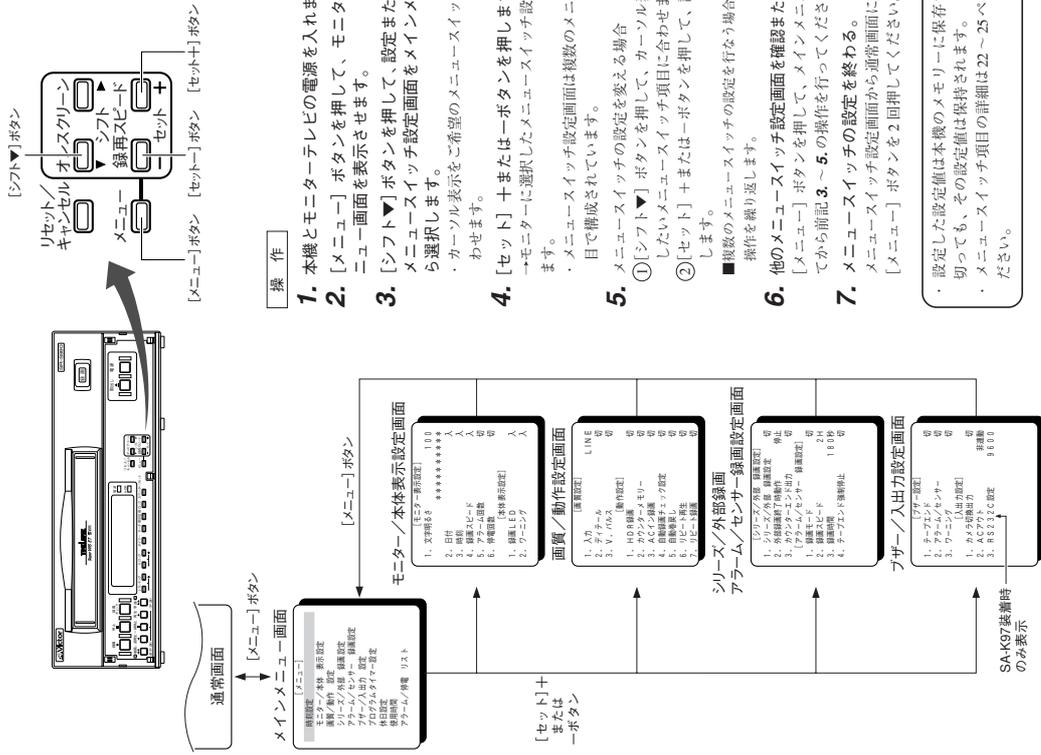


アラーム入カ/パワロス (停電) データのリセット
アラームリスト画面のとき [リセット/キャンセル] ボタンを押すと、メモリーされたアラーム入カデータがリセットされます。
停電リスト画面のとき [リセット/キャンセル] ボタンを押すと、メモリーされた停電データがリセットされます。

第4章 オンスクリーン/メニュースイッチについて (つづき)

4-6 メニュースイッチ設定のしかた

メインメニュー画面には使用目的に応じて、動作設定するための4種類のメニュースイッチ設定画面があります。
・モニター/本体表示設定
・シリーズ/外部録画 アラーム/センサー録画設定
・画質/動作設定
・プザー/入出力設定
メニュースイッチ設定画面は各々、単独にメインメニュー画面から開くことができます。



操作

1. 本機とモニターテレビの電源を入れます。
2. [メニュー] ボタンを押して、モニターにメインメニュー画面を表示させます。
3. [シフト▼] ボタンを押して、設定または確認したいメニュースイッチ設定画面をメインメニューの中から選択します。
・カーソル表示をご希望のメニュースイッチ設定画面に合わせます。
4. [セット] ボタンを押して、設定画面を表示します。
→モニターに選択したメニュースイッチ設定画面を表示します。
・メニュースイッチ設定画面は複数のメニュースイッチ項目で構成されています。
5. メニュースイッチの設定を変える場合
① [シフト▼] ボタンを押して、カーソル表示を設定変更したいメニュースイッチ項目に合わせます。
② [セット] ボタンを押して、設定値をセットします。
■ 操作を繰り返します。
6. 他のメニュースイッチ設定画面を確認または設定する場合
[メニュー] ボタンを押して、メインメニュー画面に戻り、てから前記3.~5.の操作を行ってください。
7. メニュースイッチの設定を終わる。
メニュースイッチ設定画面から通常画面に戻りたいときは [メニュー] ボタンを2回押してください。

・設定した設定値は本機のメモリーに保存され、電源を切っても、その設定値は保持されます。
・メニュースイッチ項目の詳細は22~25ページをご覧ください。

第4章 オンスクリーン/メニュースイッチについて (つづき)

4-7 メニュースイッチの内容

| 設定画面 | 項目 | 設定値 | 内容 |
|----------|--------------|------------------------|---|
| モニター表示設定 | 文字明るさ | 0 30 70 [100] | オンスクリーンの文字や数字の明るさを設定します。 数値が大きい程、文字や数字が明るくなります。 また、設定値の下のラインに明るさを表示します。 0 : ***** (黒表示) 30 : ***** 70 : ***** 100 : ***** (白表示) |
| | (本体ディスプレイ表示) | 0 30 70 100 | |
| 日付 | 日付 | [入] 切 | オンスクリーン [年・月・日] 表示設定 入：表示します。 切：表示しません。 |
| | 時刻 | [入] 切 | オンスクリーン [時刻] 表示設定 入：表示します。 切：表示しません。 |
| 録画スピード | 録画スピード | [入] 切 | オンスクリーン [録画スピード] 表示設定 入：表示します。 切：表示しません。 |
| | アラーム回数 | 入 [切] | オンスクリーン [アラーム回数] 表示設定 入：表示します。 切：表示しません。 |
| 停電回数 | 停電回数 | 入 [切] | オンスクリーン [停電回数] 表示設定 入：表示します。 切：表示しません。 |
| | 録画LED | 入 切 | 録画モード時、本体の [録画] インジケータの点灯/消灯設定 入：点灯します。 切：点灯しません。 |
| ワーニング | ワーニング | [入] 切 | 本機に異常があった場合、本体ディスプレイにワーニング表示 (エラーコード表示) するかどうかを設定します。 入：表示します。 切：表示しません。 |
| | 入力 | LINE Y/C i yc | 入力映像信号を選択します。 LINE: リアパネルの [VIDEO IN] 端子からのコンポジットビデオ信号を入力します。 Y/C: リアパネルの [Y/C IN] 端子からのセパレート Y/C 信号を入力します。 |
| ディテール | ディテール | [切] 入 | 再生時の画質を選択します。 OFF: 通常画質で再生します。 ON: 再生面の細部がよりはっきりします。ただし、SNが悪化します。 |
| | Vパルス | 入 切 | 通常再生 (2H、6Hモード) 時、Vパルスを付加させるかどうかを設定します。 切：Vパルスを付加しません。通常はこの設定にします。 入：Vパルスを付加します。 |
| u id 3 | u id 3 | off on | 電源同期のカメラ等をスイッチャーで切換えたとときなど、切換え点で画が乱れることがあります。そのような場合に“入”に設定します。モニターをロックさせ、画が乱れないようにします。(2H、6H再生のみ) ・ 静止画再生、タイムラプス再生時は常にVパルスを付加出力します。 |

[] : 工場出荷時設定 ・ 項目および設定値の下段は本体ディスプレイ上の表示内容です。

第4章 オンスクリーン/メニュースイッチについて (つづき)

4-7 メニュースイッチの内容 (つづき)

| 設定画面 | 項目 | 設定値 | 内容 |
|------------|--------------|-----------|---|
| 動作設定 | HDR 録画 | [切] 入 | タイムラプス記録時のモードを設定します。 切：通常タイムラプスモードで記録します。(SPヘッドで間欠記録します。) 入：HDR (高帯域記録) タイムラプスモードで記録します。 |
| | (本体ディスプレイ表示) | off on | (EPヘッドで間欠記録します。) 参照：27ページ |
| カウンターメモリー | カウンターメモリー | [切] 入 | カウンターメモリー機能を働かせるかどうかを設定します。 切：カウンターメモリー機能が働きます。 入：カウンターメモリー機能が働きます。 |
| | u id 2 | off on | 早送り/巻戻してテープリールカルウンター値が0000になった時、自動的に停止モードになります。オートREW、アラームサーチ、アラームスキャン、日時サーチ時はそれぞれの動作が優先され、カウンタメモリー機能は動作しません。 |
| ACイン録画 | ACイン録画 | [切] 入 | 市販の外部タイマーで制御する時や停電後録画の自動録画の入/切設定です。 切：本機に電源が投入されても、外部タイマー録画や停電後録画機能が働きます。 入：本機の電源が投入されると、自動的に録画を開始します。 |
| | u id 3 | off on | |
| 自動録画チェック設定 | 自動録画 | [切] 入 | リピーター録画時、テープ始端位置で自動的に録画チェックを行うかどうかを設定します。 切：自動録画チェックを行いません。 入：自動録画チェックを行います。 |
| | u id 4 | off on | |
| 自動巻戻し | 自動巻戻し | [切] 入 | テープ終端になったとき、自動的にテープ頭に巻戻すかどうかの設定です。 切：テープの終わりで停止します。 入：テープ頭に巻戻してから停止します。(オートREW) |
| | u id 5 | off on | ※リピーター録画/再生機能が“入”の場合は、その機能が優先します。 ※アラーム/センサー録画設定画面のメニュースイッチ [テープエンド強制停止] を“停止”に設定した場合、アラーム録画やセンサー録画が1回でもあると、テープが終わったとき停止モードとなり、自動巻戻しを実行しません。 |
| リピーター再生 | リピーター再生 | [切] 入 | リピーター再生機能の入/切設定です。 切：リピーター再生機能は働きます。 入：テープの終わりで再生すると、オートREW後、再びテープの頭から再生を繰り返します。 |
| | u id 6 | off on | |
| リピーター録画 | リピーター録画 | [切] 入 | リピーター録画機能の入/切設定です。 切：リピーター録画機能は働きます。 入：テープの終わりで録画すると、オートREW後、再びテープの頭から録画を繰り返します。 |
| | u id 7 | off on | ※アラーム/センサー録画設定画面のメニュースイッチ [テープエンド強制停止] を“停止”に設定した場合、アラーム録画やセンサー録画が1回でもあると、テープが終わったとき停止モードとなり、リピーター録画しません。 ※このメニュースイッチを“入”に設定した場合、外部録画は働きます。 |

[] : 工場出荷時設定

第4章 オンスクリーン/メニュースイッチについて (つづき)

4-7 メニュースイッチの内容

[] : 工場出荷時設定

| 設定画面 | 項目 | 設定値 | 内容 |
|-------------|---|--|--|
| シリーズ/外部録画設定 | シリーズ録画もよくは、外部からのVTR起動信号による自動録画機能を選択します。 | [切] | シリーズ録画および外部信号による自動録画機能が働きます。 外部 : 外部信号による自動録画機能が働きます。 ※メニュースイッチ「リビート録画」を「入」に設定した場合、外部録画は働きません。 |
| | 録画設定 | シリーズ 外部 | |
| 録画設定 | 外部録画終了時 | [停止] | 外部からの信号による自動録画機能で録画を終了した時のモードを選択します。 停止 : 停止モードになります。 パワーオフ : 停止モードになり、電源が切れます。 |
| | 動作 | パワーオフ | |
| 録画設定 | カウント | [切] | 録画時、設定したテープリールカウunter値で背面パネルの [TAPE END OUT] 端子からテープエンド信号を出力します。 シリーズ録画時は、この時、シリーズ録画用信号を出力しますので遠切れの少ないシリーズ録画ができます。 切 : カウunter値で設定したテープリールカウunter値になります。 500 : 録画時、設定したテープリールカウunter値になると、テープエンド信号を出力します。プザー設定画面のメニュースイッチ「テープエンド」が「入」の時はプザーが鳴ります。(テープリールカウunter値とテープ残量時間との間隔は61ペーをご覧ください)。 9500 : 5500から6500の間は100カウunter毎の設定ができます。 |
| | エンド出力 | 500 1000 9000 9500 OFF 5000 9500 | |
| 録画設定 | 録画モード | [切] | アラーム録画もしくはセンサ録画機能を選択します。 アラーム録画は録画中、背面パネルの [ALARM IN] 端子にアラーム信号が入力されると、タイムラプス録画モードからメニュースイッチ「録画スピード」で設定した録画モードに変わります。 センサ録画は録画モードに記録されたアラーム信号が入力されると、メニュースイッチ「録画スピード」で設定した録画モードで録画を始めて、背面パネルの [ALARM IN] 端子にアラーム信号が入力されると、メニュースイッチ「録画スピード」で設定した録画モードで録画を共実行します。 切 : アラーム録画、センサ録画共実行しません。 アラーム : アラーム録画を実行します。 センサ : センサ録画を実行します。 ALL : アラーム録画とセンサ録画のどちらも実行します。 |
| | 録画設定 | AL SE 1 OFF ON OFF ON ALL | |
| 録画設定 | 録画スピード | [2H] 6H L12H L18H L24H 24H 48H 変更なし | アラーム録画およびセンサ録画時の録画モードを選択します。 2H(SP/6H(EP/L12H/L18H/L24H/48H)または「変更なし」から選択します。 L12H/L18H/L24Hに設定してVHSカセットテープを使用した場合、24Hタイムラプス録画になります。 “変更なし”を選択すると、アラーム入力またはセンサ入力があったとしてもそのままの記録モードで録画が働きます。 L18HはHDRモードの録画になります。 |
| | 録画設定 | 2H 6H 12H 18H 24H 48H 変 | |
| 録画設定 | 録画時間 | 5秒 10秒 30秒 60秒 120秒 180秒 | アラーム録画およびセンサ録画時の記録時間を選択します。 5〜180 : 各設定した時間 (5秒〜180秒) アラーム録画またはセンサ録画します。 テープエンド : テープが終わるまでアラーム録画またはセンサ録画します。 マニュアル : アラーム信号が入力している間、アラーム録画またはセンサ録画の動作を停止させます。スイッチャーでアラーム録画時間を選択する場合、この設定になります。 ※アラームサムチャナやアラームサムキャンを確実に動作させるため録画時間は5秒以上に設定してください。 |
| | 録画設定 | 5 10 30 60 120 180 MANUAL | |
| 録画設定 | 録画設定 | AL SE 3 | このメニュースイッチは (別売) SA-K97RS-232C インターフェースボード装着時のみ表示します。 RS-232C データ転送速度を選択します。 600 1200 2400 4800 [9600] |
| | 録画設定 | 600 1200 2400 4800 [9600] | |

第4章 オンスクリーン/メニュースイッチについて (つづき)

4-7 メニュースイッチの内容 (つづき)

[] : 工場出荷時設定

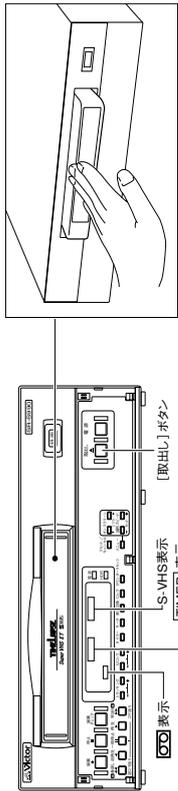
| 設定画面 | 項目 | 設定値 | 内容 |
|------|------------|--|---|
| 録画設定 | テープエンド | [切] | 録画中、アラーム録画またはセンサ録画が1回でもあった場合、テープが終わった時、強制的に停止モードにするかどうかの設定です。 切 : 強制停止モードにはなりません。 ON : テープ終了時のモードは動作設定画面のメニュースイッチ「自動巻戻し」または「リビート録画」で設定したモードになります。 停止 : 強制停止モードになります。リビート録画などでアラーム録画を消したくないとき、この設定にします。 |
| | 録画設定 | AL SE 4 OFF ON | |
| 録画設定 | プザーモード | [切] | 録画モードでプザーが終わったとき、プザーを鳴らすかどうかを設定します。 切 : プザーが鳴りません。 入 : 録画時、テープが終わったとき、プザーが鳴ります。また、シリーズ/外部録画設定のメニュースイッチ「カウunterエンド出力」で設定したテープリールカウunter値になるとプザーが鳴ります。 [巻戻し] ボタン、[取出し] ボタン、[電源] ボタンを押してモードを移行させると、プザーが止まります。 |
| | 録画設定 | AL SE 1 OFF ON | |
| 録画設定 | アラーム/センサ | [切] | アラーム録画もしくはセンサ録画中、プザーを鳴らすかどうかを選択します。 切 : プザーが鳴りません。 入 : プザーが鳴ります。 |
| | 録画設定 | AL SE 2 OFF ON | |
| 録画設定 | ワーニング | [切] | ワーニング発生時、プザーを鳴らすかどうかを設定します。 切 : プザーが鳴りません。 入 : プザーが鳴ります。ワーニングを解除するとプザーは止まります。 |
| | 録画設定 | AL SE 3 OFF ON | |
| 録画設定 | カメラ切換出力 | [切] | カメラ切換信号の出力間隔を設定します。録画時、外部シーケンシャルスイッチャーに対して出力するカメラの切換えタイミングを設定します。 切 : カメラ切換信号を出力しません。 1フレーム : 1フレーム毎にカメラを切換える場合、この設定にします。 2フレーム : 2フレーム (1フレーム) 毎にカメラを切換える場合、この設定にします。ピクチャーと接続する場合、この設定にします。 |
| | 録画設定 | AL SE 1 OFF ON 2Frame | |
| 録画設定 | AC アウト | [非連動] | 電源出力の連動/非連動の設定です。 非連動 : 本機の [電源] ボタンの入/切に連動して電源出力が働きます。 連動 : 本機の [電源] ボタンの入/切に連動して電源出力が働きます。 |
| | 録画設定 | AL SE 2 OFF ON | |
| 録画設定 | RS-232C 設定 | このメニュースイッチは (別売) SA-K97RS-232C インターフェースボード装着時のみ表示します。 RS-232C データ転送速度を選択します。 600 1200 2400 4800 [9600] | このメニュースイッチは (別売) SA-K97RS-232C インターフェースボード装着時のみ表示します。 RS-232C データ転送速度を選択します。 600 1200 2400 4800 [9600] |
| | 録画設定 | 600 1200 2400 4800 [9600] | |

第5章 準備

5-1 カセットの出し入れ

カセットの入れ方

- テープの見える面を上にして中央部を押しながらいれてください。自動的に入り始めたら手を離してください。



- S-VHSカセットテープを入れるとS-VHS表示が点灯します。記録時は、S-VHSモードになります。
- VHSカセットテープを入れるとS-VHS表示は消灯します。記録時は、ETモードになります。

注意
※カセット挿入口に異物を入れないでください。故障の原因となります。
※録画の信頼性を確保するため、T120のテープをご使用ください。

オートパワーオン

- カセットを入れると自動的に電源が入り、ディスプレイ(カセット)マークが表示されます。

オートブレイ

- つめの折れているカセットを入れると、自動的に再生を始めてます。

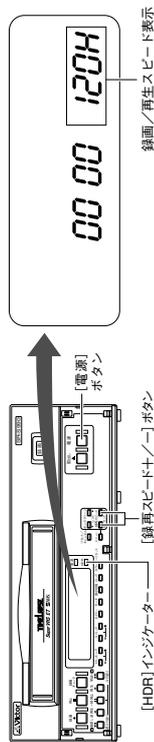
カセットの取り出し方

- 取出し ボタンを押してください。
→カセットが出てきます。
・ テープリールカウンターは“0000”にリセットされます。
・ 電源が“切”の状態でも【取出し】ボタンを押すと自動的に電源が入り、カセットが出てきます。カセットが出た後は自動的に電源が切れます。
※録画中はイジェクトしません。

※ディスプレイに【TIMER】表示が出ているときはタイムマー画面スタンバイ状態です。この状態のときは【取出し】ボタンを押してもカセットが出てきません。
カセットを取出すときは【タイムマー】ボタンを押してタイムマー画面スタンバイ状態を解除してから【取出し】ボタンを押してください。

第5章 準備 (つづき)

5-2 録画/再生スピードモードの選び方



1. 【電源】 ボタンを押し、電源を入れてください。
2. HDR (高密度録画) モードで録画するかどうかを動作設定画面のメニューイッチ「HDR 録画」で選択してください。
HDR モードで録画中、または HDR 録画したテープの再生時、[HDR] インジケータが点灯します。
3. 下の表を参照にして、[録画スピード+] または [録画スピード-] ボタンで録画または再生スピードを選んでください。
設定した録画または再生スピードモードはディスプレイに表示します。
・ HDR 録画の入/切設定により、設定できるモードが異なります。

| ディスプレイ表示 | | ディスプレイ表示 | | T120テープ 記録可能時間 (時間) | | 録画/再生間隔 (秒) (HDR録画モード「切」時) | | 音声 記録 | | |
|----------|--------|----------|-------|---------------------------|---------|-------------------------------|--------------|----------|---|----|
| S-VHSテープ | VHSテープ | VHSテープ | HDR録画 | 標準 (SP) | 3倍 (EP) | 12時間SPリニアスロー | 18時間EPリニアスロー | 2 | 6 | 可 |
| 2H | 2H* | 2H | 2H* | 24H | 24H | 24時間タイムラプス | 24 | — | — | — |
| 6H | 6H* | — | — | 48H | 48H | 48時間タイムラプス | 48 | — | — | — |
| L12H | — | — | — | 72H | 72H | 72時間タイムラプス | 72 | — | — | — |
| L24H | — | — | — | 84H | 84H | 84時間タイムラプス | 84 | — | — | — |
| 24H | 24H | 24H | 24H | 120H | 120H | 120時間タイムラプス | 120 | — | — | — |
| 48H | 48H | 48H | 48H | 168H | 168H | 168時間タイムラプス | 168 | — | — | 不可 |
| 72H | 72H | 72H | 72H | 240H | 240H | 240時間タイムラプス | 240 | — | — | — |
| 84H | 84H | 84H | 84H | 480H | 480H | 480時間タイムラプス | 480 | — | — | — |
| 120H | 120H | 120H | 120H | 960H | 960H | 960時間タイムラプス | 960 | — | — | — |

*HDR録画の入/切は2H、6H以外の録画モードに対して働きます。

- ※ビデオカセットの種類により、記録可能な時間は異なります。
※L12H、L18H、L24Hリニアスローモードではテープは連続走行し、音声も記録します。映像は間欠記録します。
(VHS テープ使用時、リニアスローモードにはできません。)
- ※L12H、L24HモードはHDR 録画を“切”に設定した場合のみ設定できます。
L18HモードはHDR 録画を“入”に設定した場合のみ設定できます。

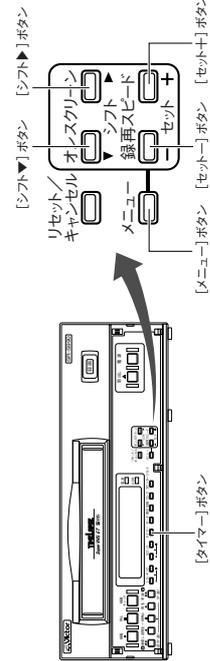
※録画の信頼性を確保するため、T-120 または、ST120 テープをご使用ください。
※カセットテープは2H～168Hモードでは15日に1回以上、240H～960Hモードでは1パスで新しいテープと交換してご使用ください。

— HDR (高密度記録) とは
HDR 録画の場合、EPヘッドで録画します。HDR 録画が“切”の場合SPヘッドで記録します。
HDR 録画は通常のタイムラプスモードに対して1コマ(1フィールド)を記録する間隔を約1/3にして、約3倍のコマ数を記録するモードです。テープ1本に記録できる時間は通常 (SP) タイムラプスモードと同じです。
HDR 録画モードで記録したテープの再生画の画質は通常タイムラプスモードで記録した映像より低下します。(EPモード相当)

第6章 録画のしかた (つづき)

6-3 タイマー録画のしかた

本機はタイマー録画の予約を曜日で指定する方法と特定した日付で指定する方法の2種類の設定画面を備えています。各設定画面はメインメニュー画面において選択し、モニターテレビのオンスクリーン画面で予約設定します。
 ・プログラムタイマー設定：曜日(日~土)タイマー録画予約と毎日タイマー録画予約の2通りの方法で設定できます。(最大8プログラムまで)
 ・休日設定
 ※年間16日まで休日など特定した日付でタイマー録画予約ができます。
 ※プログラムタイマー設定の予約がされているも、休日設定の予約が優先されます。



注意
 ※日付、時刻が設定されていないとタイマー予約や休日タイマー予約の設定は行なえません。日付・時刻設定しない状態でメインメニューのプログラムタイマー設定や休日タイマー設定を選択すると、時刻設定画面が開きますので、始めに、日付・時刻設定を行ってください。
 ※タイマー録画中はプログラムタイマー設定や休日タイマー設定を行わないでください。一度「タイム」ボタンを押して、タイマー録画を解除してからプログラムタイマー設定を行ってください。

準備
 ● 接続機器を背面パネルの各入出力端子に正しく接続します。
 ● 現在時刻の確認をします。
 ● ツメのついたカセットテープを正しく入れます。
 ● 電源が「切」の状態でもカセットテープを入れると自動的に電源が入ります。(オートパワーオン機能)

タイマープログラム予約設定

■ 指定の曜日でタイマー録画する

メインメニュー画面

メインメニュー画面

HDR 録画

1. タイマー録画
2. 録画モード設定
3. 録画モード設定
4. 録画モード設定
5. 録画モード設定
6. リセット
7. リセット

第6章 録画のしかた (つづき)

6-3 タイマー録画のしかた (つづき)

5. [シフト+]ボタンを押して、メインメニューの中から、「プログラムタイマー設定」を選択し「セット」+または「-」ボタンを押します。
 →モニターにプログラムタイマー設定画面を表示し、画面は「日曜」が点滅しています。

6. 曜日を設定する(土曜)
 [セット]+または「-」ボタンを押して、「土曜」に設定します。

7. 開始時刻を設定する(8)
 [シフト+]ボタンを押して、「開始」の時の項目を点滅させ、[セット]+または「-」ボタンを押して、開始時刻を「8」に設定します。

8. 開始分を設定する(00)
 [シフト+]ボタンを押して、「開始」の分の項目を点滅させ、[セット]+または「-」ボタンを押して開始分を「00」に設定します。

9. 同様にして、終了時(17)、終了分(00)を設定します。

※ 開始時刻より終了時刻が早い場合や同じ時刻の場合、終了時刻は翌日の時刻と判断し、終了時刻の前に「T」を表示します。

10. 録画スピードモードを設定する。(824)
 [シフト+]ボタンを押して、「録画スピード」項目を点滅させ、[セット]+または「-」ボタンで録画スピードを(824)に設定する。
 ※ HDR 録画モードを選択時は「録画スピード」に8を表示します。

11. 実行項目を設定します
 [シフト+]ボタンを押して、「実行」項目を点滅させ、[セット]+または「-」ボタンで実行項目を選択します。
 1回：最近の指定曜日(土曜日)1回だけタイマー録画します。
 毎週：毎週指定曜日(土曜日)にタイマー録画します。
 切：設定したタイマープログラムを実行しません。

■ 他の曜日もタイマー録画予約設定する場合、[シフト+]ボタンを押して、次の設定行を点滅させ、上記6.~11.の操作を行なってください。
 ※ただし、HDR 録画モードの選択を変える場合は、始めにメニュースイッチ「HDR 録画」の設定を行なってください。

12. タイマープログラム設定を終了する
 [メニュー]ボタンを2回押してください。
 →モニターは通常画面に戻ります。

13. 次に、[タイム]ボタンを押してください。
 →本体ディスプレイに「TIMER」表示と有効なタイマー予約番号が点灯し、自動的に電源が切れ、タイマー録画待機状態になります。

メインメニュー画面

プログラムタイマー設定画面

曜 日 開始時刻 終了時刻 実行項目

| | | | |
|----|-------|-------|----|
| 日曜 | 08:00 | 17:00 | 毎週 |
| 月曜 | | | |
| 火曜 | | | |
| 水曜 | | | |
| 木曜 | | | |
| 金曜 | | | |
| 土曜 | | | |
| 日曜 | | | |

予約番号

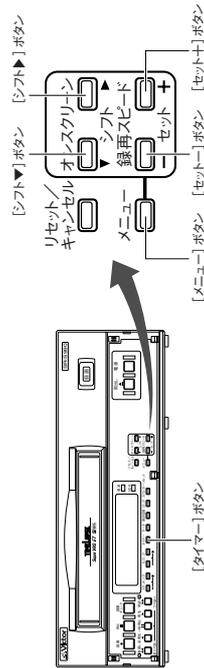
タイマー 予約番号

16:30:00

本体ディスプレイ

第6章 録画のしかた (つづき)

6-3 タイマー録画のしかた (つづき)



休日タイマー録画設定

休日や祭日など特定した日付でタイマー録画するときの設定です。年間16日まで設定できます。
休日タイマー録画設定とプログラムタイマー録画設定が重複した場合、休日タイマー録画設定が優先します。

(例) 午前0時00分から翌日の午前0時00分まで960時間通常タイムラプスモードで録画する。

- [メニュー] ボタンを押して、モニターにメインメニュー画面を表示させます。
- HDR録画を「切」にする。
① [シフト▼] ボタンでメインメニューの中の「画質/動作設定」項目を選び [ソフト] ボタンを押します。
② [セット] + または - ボタンで画質/動作設定画面の中のメニュー項目 [HDR録画] を「切」に設定します。
③ [メニュー] ボタンを押して、メインメニュー画面に戻します。
- 休日設定画面を表示させる
・ [シフト▼] ボタンを押してメインメニューの中の「休日設定」を選択し、[セット] + または - ボタンを押します。
④ [セット] + または - ボタンを押して、開始の時を「0」に設定し、[シフト▶] ボタンを押します。
→ 開始の分の項目が点滅します。
⑤ [セット] + または - ボタンを押して、開始の分を「00」に設定し、[シフト▶] ボタンを押します。
→ 終了の時の項目が点滅します。
⑥ [セット] + または - ボタンを押して終了の時を「00」に設定し、[シフト▶] ボタンを押します。
終了時刻の前に「T」を表示します。
※ 開始時刻より終了時刻が早い場合や同時刻の場合、終了時刻は翌日の時刻と判断し、終了時刻の前に「T」を表示します。
7. 同様にして [シフト▶] ボタンおよび [セット+] ボタンで終了分を「00」、録画スピードを「960」、実行の項を「入」に設定します。
8. 日付を設定します。
・ [シフト▶] ボタンまたは [ソフト▼] ボタンで順次、行を選択し、[セット] + または - ボタンで実行月日を入力してください。
9. 休日タイマー録画設定を終了する
[メニュー] ボタンを2回押します。
→ モニターは通常画面に戻ります。
10. 次に [タイマー] ボタンを押します。
→ 本体ディスプレイにTIMER表示が点灯し、自動的に電源が切れ、休日タイマー録画待機状態になります。
※ タイマー予約番号はディスプレイに表示しません。

メインメニュー画面

| | |
|----|--------------|
| 1 | 精細設定 |
| 2 | モニター/本体 表示設定 |
| 3 | 画質/動作設定 |
| 4 | プログラム設定 |
| 5 | プログラムタイマー設定 |
| 6 | プログラムタイマー設定 |
| 7 | プログラムタイマー設定 |
| 8 | プログラムタイマー設定 |
| 9 | プログラムタイマー設定 |
| 10 | プログラムタイマー設定 |
| 11 | プログラムタイマー設定 |
| 12 | プログラムタイマー設定 |
| 13 | プログラムタイマー設定 |
| 14 | プログラムタイマー設定 |
| 15 | プログラムタイマー設定 |
| 16 | プログラムタイマー設定 |
| 17 | プログラムタイマー設定 |
| 18 | プログラムタイマー設定 |

休日設定画面

| | |
|----|---------------|
| 1 | 開始 終了 スピード 実行 |
| 2 | 1: 1-15 |
| 3 | 2: 2-11 |
| 4 | 3: 4-23 |
| 5 | 4: 8-15 |
| 6 | 5: 9-15 |
| 7 | 6: 10-10 |
| 8 | 7: 11-23 |
| 9 | 8: 14-23 |
| 10 | 9: 16-23 |
| 11 | 10: 17-23 |
| 12 | 11: 18-23 |
| 13 | 12: 19-23 |
| 14 | 13: 20-23 |
| 15 | 14: 21-23 |
| 16 | 15: 22-23 |
| 17 | 16: 23-23 |
| 18 | 17: 24-23 |

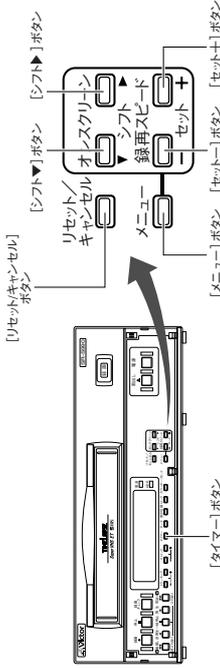
(休日設定)

| | |
|----|-----------------|
| 1 | 開始 終了 スピード 実行 |
| 2 | 0:00 T00:00 960 |
| 3 | 1: 1-15 |
| 4 | 2: 2-11 |
| 5 | 3: 4-23 |
| 6 | 4: 8-15 |
| 7 | 5: 9-15 |
| 8 | 6: 10-10 |
| 9 | 7: 11-23 |
| 10 | 8: 14-23 |
| 11 | 9: 16-23 |
| 12 | 10: 17-23 |
| 13 | 11: 18-23 |
| 14 | 12: 19-23 |
| 15 | 13: 20-23 |
| 16 | 14: 21-23 |
| 17 | 15: 22-23 |
| 18 | 16: 23-23 |
| 19 | 17: 24-23 |

・実行の項目を「切」に設定すると設定は無効となり、休日タイマー録画は実行しません。

第6章 録画のしかた (つづき)

6-3 タイマー録画のしかた (つづき)



タイマー録画予約の取消

タイマー録画予約設定中、途中で止める場合

- [リセット/キャンセル] ボタンを押します。
→ 設定中のプログラムがリセットされます。
[メニュー] ボタンを2回押します。
→ モニターは通常画面モードに戻ります。
- タイマー録画予約を完了したプログラムを取消するには
1. [録画タイマー] ボタンを押して、ディスプレイのTIMER表示を消灯します。
2. 本機およびモニターテレビの電源を投入します。
3. [メニュー] ボタンを押して、メインメニュー画面を表示させ、[シフト▼] ボタンを押して、「プログラムタイム設定」または「休日設定」を選択し、[セット] + または - ボタンを押します。
→ モニターにプログラムタイム設定または休日設定画面を表示します。
4. [シフト▼] または [セット] + ボタンで変更したい箇所を点滅させます。
5. [セット] + または - ボタンで値を変更します。
6. [メニュー] ボタンを2回押します。
→ モニターは通常画面に戻ります。
- タイマー録画予約を完了したプログラムを取り消したいプログラム
1. [録画タイマー] ボタンを押して、ディスプレイのTIMER表示を消灯します。
2. 本機およびモニターテレビの電源を投入します。
3. [メニュー] ボタンを押して、メインメニュー画面を表示させ、[シフト▼] ボタンを押して、「プログラムタイム設定」または「休日設定」を選択し、[セット] + または - ボタンを押します。
→ モニターにプログラムタイム設定または休日設定画面を表示します。
4. [シフト▼] または [セット] + ボタンで取り消したいプログラムの行にカーソル表示を合わせます。
5. [リセット/キャンセル] ボタンを押します。
→ 指定したタイマー録画予約が取り消されます。
6. [メニュー] ボタンを2回押します。
→ モニターは通常画面に戻ります。

タイマー録画待機中に使用したいとき

- ・ [タイマー] ボタンを押してTIMER表示を消すと普通に使用できます。
再び、[タイマー] ボタンを押すと、TIMER表示が点灯し、タイマー録画待機状態に戻ります。
・ 全てのタイマー録画が完了するとTIMER表示が消灯します。

第6章 録画のしかた (つづき)

6-3 タイマー録画のしかた (つづき)

タイマー録画時のご注意

- 予約にミスがあったり、予約がされていないと…
[タイマー] ボタンを押したとき、TIMER 表示が約10秒間点滅します。プザー設定メニュースイッチ [ワーニング] が“入” 設定時は警告ブザーが鳴ります。
- 予約設定を行なってください。
※ 休日タイマー録画の設定で日付が設定されていない場合は、TIMER 表示は点滅せずタイマースタンバイになります。録画は実行されませんので注意してください。
- 予約が重なっていると…
[タイマー] ボタンを押すと、タイマー録画待機状態となり、本体ディスプレイに **OVERLAP** 表示が約10秒間点滅した後、点灯します。
(ただし、プログラムタイマー設定と休日タイマー設定が重なっているときは **OVERLAP** 表示しません。この場合、休日タイマー設定が優先されます。また、プログラムタイマー設定の中でも毎日タイマー録画予約設定をした場合、他のプログラムと重なっているときは **OVERLAP** 表示しません。この場合、予約時間の早いプログラムを実行します。)
- 予約内容を確認してください。
プログラムタイマー設定では、予約時刻の早い方を優先して録画します。
- 複数のプログラムタイマー予約した場合…
・ 時間的優先順位の早いプログラムタイマー予約から実行され、実行中の本体ディスプレイのプログラムタイマー番号表示が点滅します。
※ 休日タイマー録画予約には、ディスプレイの番号表示がありません。
- 開始時刻を過ぎて、タイマー録画に入れた場合…
設定された時間内に停電し、停電が復帰した場合…
・ 設定された時間内であればタイマー録画を開始します。
・ 休日タイマー設定とプログラムタイマー設定が重なった場合は休日タイマー設定を優先して録画します。
・ プログラムタイマー設定の予約が重なっている場合はタイマー予約番号の小さい方を優先して録画します。
- タイマー録画中にタイマー録画内容を変更した場合…
・ タイマー録画中にプログラムタイマー設定画面や休日タイマー設定画面を表示させ、現在実行しているプログラムの内容を変更しても動作は変更前の状態を継続します。一度、タイマー録画を終了させてから、設定を変更してください。

- タイマー録画中は…
録画一時停止/停止の操作はできません。
タイマーボタンを押してから操作してください。
- タイマー録画では…
録画開始の約20秒前に電源が入り、録画一時停止をした後約2秒前から録画が開始します。
- カセットが入っていないと…
TIMER および **AL** 表示が点滅します。
プザー設定メニュースイッチ [ワーニング] が“入” 設定時は警告ブザーが鳴ります。
ツメのついたカセットテープを入れてください。
ツメの無いカセットテープはイジェクトされます。
- タイマー録画中、テープエンドになると…
カセットテープをイジェクトします。
ツメのついたカセットテープを入れると、タイマー録画を再開します。

※ ただし、リビート録画モードでタイマー録画を実行している場合は、テープエンドになってもカセットテープをイジェクトしません。リビート録画を続けます。

- タイマープログラム予約や休日タイマーの録画スピードを L12/L18/L24 に設定している場合
VHS カセットテープを入れて [タイマー] ボタンを押すと、カセットテープがイジェクトされます。

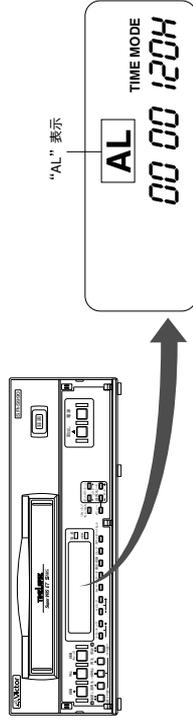
・ S-VHS カセットテープを入れるか、L12/L18/L24以外の録画スピードに変更してください。

第6章 録画のしかた (つづき)

6-4 アラーム録画のしかた

アラーム録画は録画中に動作します。録画中に異常が発生すると (背面パネルの ALARM IN 端子にアラーム信号が入力されると) テープにインデックスコードを記録し、自動的に予め設定したアラーム録画モードで録画します。そして、予め設定したアラーム録画時間を経過した後は再び元のタイムラプス録画で録画を始めます。

- ※ 録画一時停止中にはアラーム録画に入りません。
- ※ アラーム録画機能を100回/1日を超えような頻度で使用すると、本機の機構が保証できる範囲を越えるため故障する恐れがあります。100回/1日を超えて使用したい場合は、録再スピードを2H、6H、L12H、L18H、L24Hのいずれかに設定し、かつ定期的な保守点検、部品交換を行ってください。L12H、L18H、L24H に設定するときは S-VHS テープをお使いください。



- ・ アラーム録画モード、アラーム録画時間、アラーム録画中のプザー入/切、およびテープエンドになった時の強制ストップモードの入/切はメニュースイッチで設定します。
- ・ また、アラーム録画時、ディスプレイに“AL” の表示が点灯します。
- ・ オンスクリーン表示の時は、モニター画面の録画スピードの項に“アラーム” の表示が出ます。
- ・ アラーム録画が終わっても、ディスプレイの“AL” の表示は点滅してアラーム入力があったことを知らせます。

| オンスクリーン表示 | 消灯 | 表示 | 消灯 | 表示 | 消灯 |
|-----------|-----------|-----------------------|-----------|-----------------------|-----------|
| “アラーム” 表示 | 消灯 | 点滅 | 点滅 | 点滅 | 点滅 |
| ディスプレイ表示 | タイムラプスモード | メニュースイッチ [録画スピード] の設定 | タイムラプスモード | メニュースイッチ [録画スピード] の設定 | タイムラプスモード |
| 録画モード | タイムラプス録画 | アラーム録画 | タイムラプス録画 | アラーム録画 | タイムラプス録画 |

アラーム信号入力

- ※ ・ アラーム録画の開始点に、アラームキュー信号としてテープにインデックスコード (VSS) が記録されます。
- ・ アラーム録画中、背面 ALARM REC OUT 端子から +12V の信号が出力されます。
- ・ アラーム録画中に新たなアラーム入力があったときはその時点からアラーム録画を再開します。

アラーム / センサー録画の録画スピードについて
VHS カセットテープの使用時、録画スピードを VHS カセットテープでは録画できないスピード (L12/L18/L24) にすると、自動的に 24H タイムラプス録画になります。

第6章 録画のしかた (つづき)

6-4 アラーム録画のしかた (つづき)

準備

背面パネルのアラーム入力端子にアラームセンサーを接続してください。

1. [電源] ボタンを押し、電源を投入します。
2. アラーム録画に関するメニュースイッチを設定します。
メインメニューの「アラーム/センサー録画設定」を開いて、設定します。

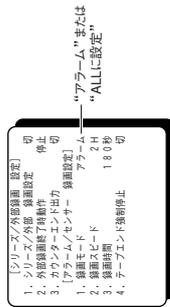
- ① 録画モード
アラーム録画を働かすため、「アラーム」または「ALL」に設定します。
- ② 録画スピード
「ALL」に設定した場合、アラーム録画およびセンサー録画が動作します。
- ③ 録画モード
本体ディスプレイの「AL REC」表示が点灯します。

- ④ 録画時間
アラーム録画時の録画スピードモードを選択します。
メニュースイッチ [録画スピード] で設定します。
- ⑤ 録画時間
アラーム録画時間を設定します。
5秒、10秒、15秒、30秒、60秒、120秒、180秒、テープエンド(テープ終りまで)、マニュアル(アラーム信号入力中)の中から選択します。

- ⑥ テープエンド強制停止
録画中、アラーム録画が1回でもあった場合、テープが終わった時、強制的に停止モードにするかどうか設定します。
- ⑦ 「停止」に設定すると、リビート録画、自動巻戻しの設定になっていても、テープエンドになると停止モードになります。
- ⑧ 「切」に設定すると、リビート録画や自動巻戻しの設定に基づいて動作します。

3. その他のメニュースイッチを設定します。
アラームプザーの選択
アラーム録画中、アラームプザーを鳴らしたい場合、プザー設定のメニュースイッチ「アラーム/センサー」を「入」に設定します。
- オンスクリン表示の明るさと内容項目の選択
モニター表示設定のメニュースイッチで選択します。
フロントパネルの「オンスクリン▼/▶」ボタンでオンスクリーン表示位置を変更することができます。

アラーム/センサー録画設定



- HDR 録画の選択
タイムラプス録画時、HDR 録画モードで録画する場合、動作設定のメニュースイッチ「HDR 録画」を「入」に設定します。

4. フロントパネルの「録画スピード+/」ボタンでタイムラプス録画モードを選択してください。
→選択した録画スピードモードは本体ディスプレイおよびモニターにオンスクリン表示します。
5. 29ページ「録画の基本操作」と同様の操作をしてください。
6. 背面パネルのALARM IN端子にアラーム信号が入力されると、設定した状態でアラーム録画を行います。
7. アラーム録画およびアラーム表示を止める場合は、ディスプレイの「AL」表示が点灯時(アラーム録画中)に「リセット/キャンセル」ボタンを押すと、アラーム録画を止め、タイムラプス録画に戻ります。その時、「AL」表示が消灯します。アラームプザーが鳴っている場合、プザーも止まります。
8. ディスプレイの「AL」表示が点滅時に「リセット/キャンセル」ボタンを押すと、「AL」表示が消灯します。

※ アラーム録画開始時や終了時に画面が乱れることがあります。故障ではありません。

第6章 録画のしかた (つづき)

6-5 センサー録画のしかた

センサー録画はVTRが停止状態(停止、タイマー録画スタンバイや電源「切」状態)時、異常が発生したとき(背面パネルにアラーム信号が入力されたとき)だけ録画します。センサー録画に関する設定は38ページ「アラーム録画」と同様にメニュースイッチで行ないます。

※ センサー録画機能を100回/1日を越えるような頻度で使用すると、本機の機構が保証できる範囲を越えるため故障する恐れがあります。

準備

背面パネルのアラーム出力端子にアラームセンサーを接続してください。

1. [電源] ボタンを押し、電源を投入します。
2. センサー録画に関するメニュースイッチを設定します。
メインメニューの「アラーム/センサー録画設定」を開いて、設定します。

- ① 録画モード
センサー録画を働かすため「センサー」または「ALL」に設定します。
- ② 録画スピード
「ALL」に設定した場合、アラーム録画およびセンサー録画が動作します。
- ③ 録画モード
本体ディスプレイの「SENSOR REC」表示が点灯します。

- ④ 録画時間
センサー録画時の録画スピードモードを選択します。
メニュースイッチ [録画スピード] で設定します。
- ⑤ 録画時間
センサー録画時間を設定します。
5秒、10秒、15秒、30秒、60秒、120秒、180秒、テープエンド(テープ終りまで)、マニュアル(アラーム信号入力中)の中から選択します。

- ⑥ テープエンド強制停止
録画中、テープが終わった時、強制的に停止モードにするかどうかを設定します。
- ⑦ 「強制停止」に設定すると、リビート録画、自動巻戻しの設定になっていても、テープエンドになると停止モードになります。
- ⑧ 「切」に設定すると、リビート録画や自動巻戻しの設定に基づいて動作します。

3. その他のメニュースイッチを設定します。
アラームプザーの選択
センサー録画中、アラームプザーを鳴らしたい場合、プザー設定のメニュースイッチ「アラーム/センサー」を「入」に設定します。

アラーム/センサー録画設定



- オンスクリン表示の明るさと内容項目の選択
モニター表示設定のメニュースイッチで選択します。
録画時、映像信号と一緒にオンスクリン情報が記録されます。
- フロントパネルの「オンスクリン▼/▶」ボタンでオンスクリーン表示位置を変更することができます。

4. 本機の電源を「入」にして、停止状態にします。
5. 背面パネルにアラーム信号が入力されると、自動的に設定した録画モードで記録を始め、ディスプレイに「AL」表示を点灯します。
オンスクリンの動作モードは「アラーム」表示します。
・設定した録画時間終了後、停止状態になります。

※ センサー録画は停止状態から録画を始め、録画開始に数秒かかります。

6. センサー録画およびAL(アラーム)表示を止めるときは「リセット/キャンセル」ボタンを押してください。

この時、メニュースイッチ「テープエンド強制停止」が「入」でもテープ終了時の動作は動作設定メニュースイッチ「自動巻戻し」または「リビート録画」の設定に従います。

7. センサー録画モードをやめる場合はアラーム/センサー録画設定のメニュースイッチ「録画モード」を「切」または「アラーム」に設定してください。

※ 再生時、センサー録画と次のセンサー録画のつなぎ目で画面が乱れたり、ノイズが出たりすることがあります。故障ではありません。
※ センサー録画中に新たなアラーム入力があったときはその時点からセンサー録画を再開します。

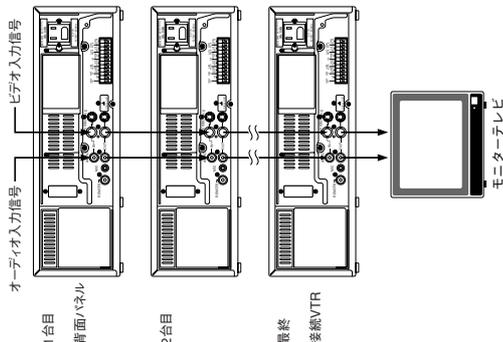
第6章 録画のしかた (つづき)

6-6 シリーズ録画のしかた

本機を複数台接続することにより、長時間の録画が行なえるシリーズ録画機能をご用意しています。1台目の録画が終了すると2台目が録画を開始し、接続した右数分の連続録画を行えます。カウンターストップ出力機能を使用すると、途切れの少ないシリーズ録画ができます。

接続

- 1台目の [SERIES REC OUT] 端子と2台目の [SERIES REC IN] 端子、2台目 [SERIES REC OUT] 端子と3台目 [SERIES REC IN] 端子...を接続します。各VTRの [COM] 端子間を接続します。
- 1台目のVTRのビデオおよびオーディオ入力端子とカメラ等映像機器およびオーディオ機器出力端子と接続します。
- 1台目のビデオ・オーディオ出力端子と2台目のビデオ・オーディオ入力端子、2台目のビデオ・オーディオ出力端子と3台目のビデオ・オーディオ入力端子...を接続します。
- 最終VTRのビデオ・オーディオ出力端子をモニターテレビのビデオ・オーディオ入力端子に接続します。



- 録画中、モニターテレビで入力映像信号を確認できます。
- 2台目以降のVTRの電源を“入”にしておくこと、2H、6H、L12H、L18H、L24H録画モード時、モニターテレビで入力音声を確認できます。L12H、L18H、L24Hを除くタイムラプス録画モード時は音声の確認はできません。

ご注意

- カセットテープが装着されていないVTRがあると、シリーズ録画はそこで止まります。
- 映像信号を上図の様にシリーズ接続した場合、2台目以降のVTRは前のVTRのオンスクリーン情報を録画します。この事を避けたい場合は、分配器を用いて、各VTRに映像信号を分配してください。

第6章 録画のしかた (つづき)

6-6 シリーズ録画のしかた (つづき)

- 1台目のVTRが録画を終了すると、自動的に2台目のVTRが録画を始め、接続した右数分、同じ動作を繰り返します。

- テープエンド出力を指定した場合、設定したテープリールカウンタで [SERIES REC OUT] 端子からシリーズ録画信号を出し、次のVTRの録画を開始させます。
- 1台目のVTRはテープ終了まで録画を行います。

- 動作設定のメニュースイッチ「自動巻戻し」が“切”の場合、テープ終了まで録画すると停止状態になります。「自動巻戻し」が“入”の場合はテープをテープ頭に巻戻して、停止状態になります。(オートリワインド)
- カウンターストップ出力機能を使ってのオートリワインド・カウンターストップ出力時、テープがテープ頭に巻き戻されるまでリールカウンタは“0000”にリセットされ、テープリールカウンタは“0000”にリセットされます。

エンドレスシリーズ録画について

シリーズ録画機能を使い、2台のVTRでエンドレスシリーズ録画を行えます。2台のVTRが交互にシリーズ録画を続けます。この機能を使用するには、次の様に接続および設定を行なってください。

■ 設定

- 2台のVTRとも、メニュースイッチ「シリーズ/外部録画」設定を“シリーズ”に設定します。
- 2台のVTRとも画質/動作設定のメニュースイッチ「自動巻戻し」を“入”に設定します。
- 2台のVTRとも画質/動作設定のメニュースイッチ「自動録画チェック設定」と「リビート録画」を“切”に設定します。

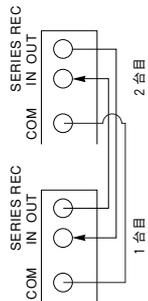
- 適切なエンドレスシリーズ録画を行うにはカウンターストップ出力機能を使用してください。
- テープ終端の少し前の位置でカウンターストップ信号を出力するように設定します。
- 2台のVTRともシリーズ/外部録画設定のメニュースイッチ「カウンターストップ出力」を“5500”に設定します。(T120カセットテープの場合)

※カウンターストップ出力機能を使用し、自動巻戻しが“入”の時、テープがテープ頭に巻き戻されると、自動的にテープリールカウンタは“0000”にリセットされます。

ご注意
エンドレスシリーズ録画を続けるとテープおよびVTRをいためる原因となります。
特に、テープ交換を同時行ってください。
(27ページ参照)

■ 接続

- 1台目の [SERIES REC OUT] 端子と2台目の [SERIES REC IN] 端子を接続、2台目の [SERIES REC OUT] 端子と2台目の [SERIES REC IN] 端子を接続します。



- 映像/音声信号の接続は40ページ接続図と同様にしてください。

操作

- シリーズ録画を動かすため、シリーズ/外部録画設定のメニュースイッチ「シリーズ/外部録画設定」を“シリーズ”に設定します。(接続した全てのVTRに対して設定します。)



- 通常はテープエンドになると、次のVTRは録画を始めますが、メニュースイッチのカウンターストップ出力機能を使用すると、設定したテープリールカウンタ値を越えたとシリーズ録画出力信号を出し、次のVTRは録画を始めます。
- メニュースイッチ「カウンターストップ出力」を500、1000、...9500の中から選びます。
- T120カセットテープの場合、テープ頭からテープ終了までのテープリールカウンタ値の目安は約5800です。(参照61ページ)

- 設定終了後、[メニュー] ボタンを押して、通常画面に戻します。

- 接続した全てのVTRにツメのあるカセットテープを装着してください。

- カウンターストップ出力機能を使用する場合、[表示切換] ボタンでカウンターストップ出力機能の表示をON/OFFしてください。
- カセットを装着すると、カウンターストップ出力機能は“0000”にリセットします。

- 1台目のVTRの録画を始めてください。

第6章 録画のしかた (つづき)

6-7 リピート録画のしかた

本機はテープの終りまで録画すると、自動的にテープが巻戻され、テープ頭から反復録画するリピート録画機能を備えています。

- リピート録画を行う場合には画質/動作設定のメニュースイッチ「リピート録画」を「入」に設定してください。
- 本体ディスプレイの「REPEAT」表示が点灯します。
- アラーム/センサー録画モード設定画面のメニュースイッチ「テープモード強制停止」の設定について
 - ・このメニュースイッチを「停止」に設定すると、アラーム録画やセンサー録画が1回でもあった場合、テープが終わったときに、強制的に停止状態になります。
 - ・録画中にアラーム録画やセンサー録画があった場合でも、リピート録画を続ける場合はこのメニュースイッチ「テープモード強制停止」も「切」に設定してください。

テープモード強制停止にしてのリピート録画モード時、アラーム録画またはセンサー録画があると「REPEAT」表示は消滅します。

画質/動作設定画面

| LINE | 項目設定 |
|---------------|------|
| 1. 入力 | 切 |
| 2. ティンクル | 切 |
| 3. V. パルス | 切 |
| 1. HD記録 | 入 |
| 2. 動作設定 | 切 |
| 3. ACインテック | 切 |
| 4. 自動録画チェック設定 | 切 |
| 5. 自動巻戻し | 切 |
| 6. リピート再生 | 切 |
| 7. リピート録画 | 入 |

アラーム/センサー録画設定画面

| 項目 | 設定 |
|------------------|------|
| 1. シリーズ/外部録画設定 | 切 |
| 2. 外部録画終了時動作 | 停止 |
| 3. カウンターストップ出力 | 切 |
| 4. アラーム/センサー録画設定 | 切 |
| 1. 録画モード | アラーム |
| 2. 録画スピード | 2H |
| 3. 録画時間 | 180秒 |
| 4. テープエンド強制停止 | 切 |

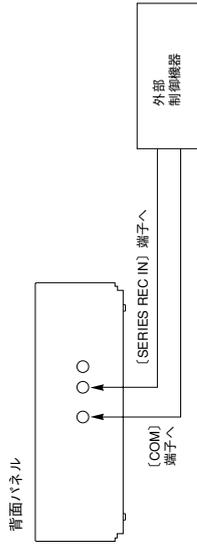
※ リピート録画を行うと、先に録画されたアラーム録画は消去されます。

第6章 録画のしかた (つづき)

6-8 外部のVTR起動信号による録画のしかた

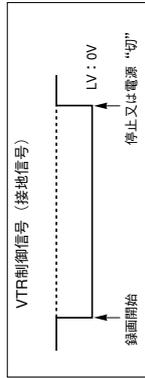
本機は背面パネルの「SERIES REC IN」端子にVTR起動信号を入力する事により、録画の開始、停止動作を外部から制御することができます。

※ 外部録画機能を100回/日を超える頻度で使用すると、本機の機構が保証できる範囲を超えるため故障する恐れがあります。100回/日を超えて使用したい場合は録画スピードを2H、L12H、L18H、L24Hのいずれかに設定し、かつ定期的な保守点検、部品交換を行ってください。L12H、L18H、L24Hに設定するときはS-VHSテープをお使いください。



接続

- 本機背面パネルの「SERIES REC IN」端子および「COM」端子と外部制御装置とを接続します。



操作

1. 外部録画機能を使用するためシリーズ/外部録画設定のメニュースイッチ「シリーズ/外部録画設定」を「外部」に設定します。
 - ・外部録画機能を終了したときのモードをメニュースイッチ「外部録画終了時動作」で選択します。
 - ・「停止」に設定すると、停止状態になります。
 - ・「パワーオフ」に設定すると電源が切れます。
2. 「メニュー」ボタンを押して、オンスクリーン表示をタイムデート表示に戻します。
3. ツメのあるカセットテープを挿入し、停止状態または電源を切った状態にします。
 - ・背面パネルの「SERIES REC IN」端子にVTR起動信号(接地入力)が入力されると自動的に録画を始め、起動信号が入力されなくなるまで録画を続けます。起動信号がなくなり、電源を切った状態にしてください。
 - ・再び起動信号が入力されると録画を始めます。

アラームサーチ/日時サーチするには

- ・アラーム録画やセンサー録画は5秒以上録画してください。
- ・長時間タイムラプスモードで録画する場合、録画時間が短いと、日時サーチが正しく行えません。
- ・日時サーチを正常に動作させるためには、標準または3倍モード再生時、5秒以上に相当する録画時間が必要です。
- (例) 960H 通常タイムラプス録画の場合40分以上の録画時間が必須です。

| シリーズ/外部録画設定 | 外部 |
|------------------|----|
| 1. シリーズ/外部録画設定 | 外部 |
| 2. 外部録画終了時動作 | 停止 |
| 3. カウンターストップ出力 | 入 |
| 4. アラーム/センサー録画設定 | 切 |
| 1. 録画モード | 2H |
| 2. 録画スピード | 5秒 |
| 3. 録画時間 | 5秒 |
| 4. テープエンド強制停止 | 切 |

シリーズ/外部録画設定画面

- ・外部録画機能は停止状態、電源「切」状態の他、録画一時停止状態からも動作します。
- ・「録画」ボタンによる録画中、VTR起動信号が入力されると、そのまま録画を続け、起動信号が無入力になると録画を終了します。
- ・再生時、外部録画機能による録画のつなぎ目まで画面が乱れたり、ノイズが出たりすることがありますが故障ではありません。

ご注意

- ・「TIMER」表示が点灯時、または動作設定メニュースイッチ「リピート録画」が「入」設定時、外部録画は実行しません。リピート録画したい場合はメニュースイッチ「リピート録画」を「切」にし、「自動巻戻し」を「入」に設定してください。

第6章 録画のしかた (つづき)

6-7 リピート録画のしかた

本機はテープの終りまで録画すると、自動的にテープが巻戻され、テープ頭から反復録画するリピート録画機能を備えています。

- リピート録画を行う場合には画質/動作設定のメニュースイッチ「リピート録画」を「入」に設定してください。
- 本体ディスプレイの「REPEAT」表示が点灯します。
- アラーム/センサー録画モード設定画面のメニュースイッチ「テープモード強制停止」の設定について
 - ・このメニュースイッチを「停止」に設定すると、アラーム録画やセンサー録画が1回でもあった場合、テープが終わったときに、強制的に停止状態になります。
 - ・録画中にアラーム録画やセンサー録画があった場合でも、リピート録画を続ける場合はこのメニュースイッチ「テープモード強制停止」も「切」に設定してください。

テープモード強制停止にしてのリピート録画モード時、アラーム録画またはセンサー録画があると「REPEAT」表示は消滅します。

画質/動作設定画面

| LINE | 項目設定 |
|---------------|------|
| 1. 入力 | 切 |
| 2. ティンクル | 切 |
| 3. V. パルス | 切 |
| 1. HD記録 | 入 |
| 2. 動作設定 | 切 |
| 3. ACインテック | 切 |
| 4. 自動録画チェック設定 | 切 |
| 5. 自動巻戻し | 切 |
| 6. リピート再生 | 切 |
| 7. リピート録画 | 入 |

アラーム/センサー録画設定画面

| 項目 | 設定 |
|------------------|------|
| 1. シリーズ/外部録画設定 | 切 |
| 2. 外部録画終了時動作 | 停止 |
| 3. カウンターストップ出力 | 切 |
| 4. アラーム/センサー録画設定 | 切 |
| 1. 録画モード | アラーム |
| 2. 録画スピード | 2H |
| 3. 録画時間 | 180秒 |
| 4. テープエンド強制停止 | 切 |

※ リピート録画を行うと、先に録画されたアラーム録画は消去されます。

自動録画チェック機能について

本機はリピート録画の頭部分で正しく記録されているかどうかのチェックを自動的に行う自動録画チェック機能を備えています。

- 自動録画チェック機能を働かすには、画質/動作設定のメニュースイッチ「自動録画チェック」を「入」に設定してください。

自動録画チェック機能の動作

- リピート録画のテープ頭部分で数秒間録画を行ない、自動的にその部分を再生し、テープに正しく記録されているかどうかをチェックします。正しく記録されれば録画を続けます。
- 正しく記録されなかった場合、自動的にヘッドをクリーニングし、再度、数秒間録画を行い、録画チェックを行います。2回目の録画チェックでも正常でなかった場合、ディスプレイにエラーコード「E-09」を表示して録画を続けます。

ご注意

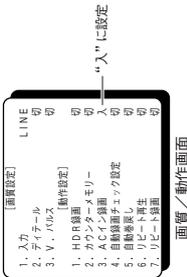
- リピート録画を繰り返し長時間使用すると、テープおよびVTRをいためる原因となります。
- 特にテープは適時交換してください。(参照27ページ)

第6章 録画のしかた（つづき）

6-9 停電復帰録画のしかた

本機は録画中に停電があっても、停電が復帰した後、自動的に停電する前のモードで録画を開始する停電復帰録画機能を備えています。
この機能を使用する場合には画質/動作設定画面のメニュースイッチ「ACイン録画」を「入」に設定してください。

※ このメニュースイッチを「入」に、しておくことで停電復帰でも電源を切った後、再度電源を入れると自動的に録画モードになりますのでご注意ください。



6-10 外部タイマー録画

本機は外部タイマーとの接続により外部タイマー録画が行えます。

- ビデオカセットが挿入されていることを確認してください。

※ カセットの除去防止用ツメが折れている場合外部タイマー録画が行えません。

※ 本機がタイマー録画になっている時は、この機能は動きません。

6-11 テープエンド警告について

本機は録画時テープエンドになると、テープエンドを知らせるブザー音をON/OFFができます。オンスクリーン表示では、「テープエンド」表示が点滅します。

■ ブザー音を発音させたいときは、ブザー設定画面のメニュースイッチ「テープエンド」を「入」に設定してください。
・シリーズ/外部録画設定のメニュースイッチ「カウンタモリ」以外の設定した場合、設定したリールカウンターの値になるとブザー音が鳴ります。

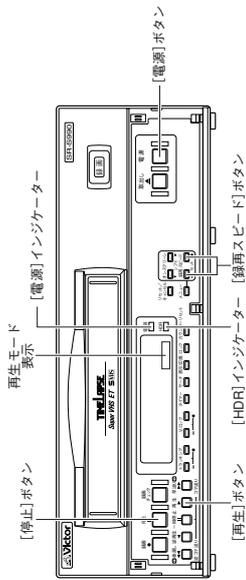
■ ブザーは鳴り続けます。ブザー音を止める場合、ブザー設定のメニュースイッチ「テープエンド」を「切」にするか「巻戻し」ボタン等での操作にするか「電源」ボタンを押してください。

■ リビート録画およびオートREW時は約2秒間鳴ります。



SAK97
録画時のみ
表示

第7章 再生・特殊再生のしかた



7-1 再生時の設定について

接続

背面パネルの各出力端子を正しく接続します。

メニュースイッチの設定

必要に応じて画質/動作設定のメニュースイッチを設定してください。

- デイターム・工場出荷時設定：OFF
再生時の細部をよりはっきりさせたいとき、ONに設定します。ただしSINが悪化します。
- [V・VHS]・工場出荷時設定：切
通常再生 (2H) または6Hモード時、Vパルスを加えると「カウンタメモリー」・工場出荷時設定：切
カウンタメモリー機能の入/切設定です。
- カウンタメモリー機能を使う場合「入」に設定します。
- [自動巻戻し]・工場出荷時設定：切
自動巻戻し機能の入/切設定です。
- [リビート再生]・工場出荷時設定：切
テープ頭まで巻戻します。

リビート再生の場合、「入」に設定します。

7-2 再生のしかた

- 電源ボタンを押し、電源を投入してください。電源インジケータが点灯します。
- 録再スピード+ボタンを押し再生モードを2Hもしくは6Hモードにします。
ディスプレイ部に「2H」もしくは「6H」が表示するように設定します。

・タイムラプスモードで記録されているテープをゆつくり再生するには [録再スピード+] ボタンを押して、タイムラプスモード (L12H、L18H、L24H、24H・960H) を適当な値に設定してください。(スロー再生)
※ スロー再生を連続して長時間 (数時間以上) 使用する場合は避けてください。

- 録画済カセットテープを正しく入れます。
・電源が「切」の状態でもカセットテープを入れると自動的に電源が入ります。(オートパワーオン機能)
・電源が「切」の状態でもカセットテープを入れると自動的に電源が入ります。(オートパワーオン機能)

- 再生ボタンを押すと再生を始めてください。

ディスプレイに再生マークが表示され再生状態になります。

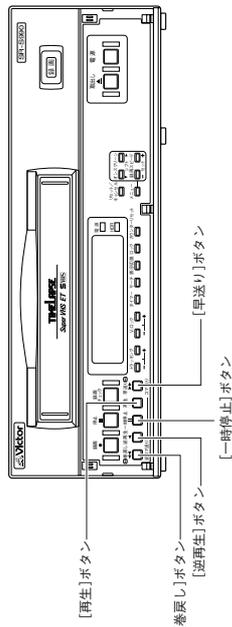
再生を止める場合は

- [停止] ボタンを押します。
テープ走行は停止し、停止状態になります。

S-VHS ET 録画テープ再生時の注意

サージ再生など、テープに負荷のかかる操作はなるべく避けてください。画質の劣化の原因になります。
サージ再生やコマ送り再生時は、本機の性能上ノイズが出る場合があります。

第7章 再生・特殊再生のしかた（つづき）



7-3 特殊再生のしかた

静止画再生のしかた

- 再生中に [一時停止] ボタンを押します。
ディスプレイ部に静止画マークが表示され、静止画状態になります。
- [再生] ボタンを押すと、通常の再生状態に戻ります。

※ 静止画状態を約3分続けるとテープ保護のため自動的に停止状態になります。

コマ送り再生のしかた

- 再生中に [一時停止] ボタンを押して静止画状態にします。
- [一時停止] ボタンを押した状態で、[早送り] ボタンまたは [巻戻し] ボタンを押します。
[早送り] または [巻戻し] ボタンの押し方により、次の様な動作になります。
■ [早送り] ボタンまたは [巻戻し] ボタンを押す毎に早送り方向または巻戻し方向に1コマずつコマ送り再生します。
■ [早送り] ボタンまたは [巻戻し] ボタンを2秒以上押し続けると、早送り方向または巻戻し方向に連続的にコマ送り再生します。
(連続コマ送り再生)
- 連続コマ送り再生時、[一時停止] ボタンを押すと静止画状態に戻ります。

※ ・連続コマ送り再生時、音声は出力しません。
・連続コマ送り再生を約3分続けるとテープの保護のため、自動的に停止状態になります。
・早送り方向のコマ送りから巻戻し方向のコマ送り再生に切換えたとき、数秒間画面にノイズが出る場合があります。

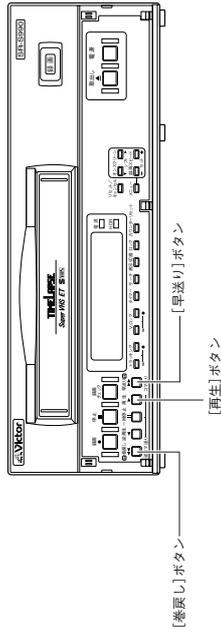
逆再生のしかた

- 録画、録画一時停止、録画チェック以外の時 [逆再生] ボタンを押します。
ディスプレイ部に逆再生マークが表示され、逆再生状態になります。
・再生スピードモードの設定に関係なく2Hモードまたは6Hモードの速度で逆再生します。

※ 音声は出力しません。

- 静止状態にするときは [一時停止] ボタンを押してください。
通常の再生状態にするときは、[再生] ボタンを押してください。

第7章 再生・特殊再生のしかた（つづき）



シャトルサーチ（巻戻し・早送り）再生のしかた

再生中に、[早送り] ボタンを押すと早送り再生または巻戻し再生します。

■ 早送り再生する

再生中に [早送り] ボタンを押します。
ディスプレイ部に早送りマークが表示され早送り再生状態になります。

■ 巻戻し再生する

再生中に [巻戻し] ボタンを押します。
ディスプレイ部に巻戻しマークが表示され巻戻し再生状態になります。

・ [早送り] ボタンまたは [巻戻し] ボタンの押し方により、下表のように動作します。

| テープの録画状況 巻戻し、 早送りボタン操作 一度ボタンと押す 2秒以上押し続ける | 2H (SP) または通常タイムラプスモードで記録したテープ 2H (SP) モードの7倍速で再生します。(ラッチ) [再生] ボタンを押すと通常再生になります。 | 6H (EP) またはHDRタイムラプスモードで記録したテープ 6H (EP) モードの21倍速で再生します。(ラッチ) [再生] ボタンを押すと通常再生になります。 |
|---|---|---|
| | 2H (SP) モードの7倍速で再生します。 指を離すと通常再生になります。 | 6H (EP) モードの13倍速で再生します。 指を離すと通常再生になります。 |

・ ラッチ…指を離してもシャトルサーチを続けた状態を限ります。

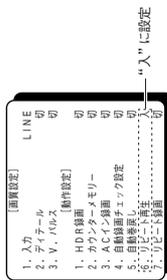
※ シャトルサーチ時、音声は出力しません。

第7章 再生・特殊再生のしかた (つづき)

7-5 リピート再生

本機はテープエンドまで再生すると、繰り返しテープの始めから再生を開始するリピート再生を行います。
・リピート再生するときは、画質/動作設定のメニュースイッチ「リピート再生」を「入」に設定してください。

(画質/動作設定画面)

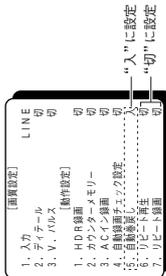


ご注意

- ・メニュースイッチ「リピート再生」や「リピート録画」を「入」に設定しているとき、再生または録画時、テープ始めで停止せずリピート再生またはリピート録画を行います。

■オートリワインドについて
本機はテープエンドまで録画、再生もしくは早送りすると、自動的にテープを巻戻し、テープの始めで停止します。
・オートリワインドするときは画質/動作設定のメニュースイッチ「自動巻戻し」を「入」に設定してください。

(画質/動作設定画面)



7-6 カウンターメモリーについて

本機は早送りや巻戻し状態でコントロールボタンが「00:00:00」またはリールテープカウンターが「0000」になったとき、自動的に停止状態になるカウンターメモリー機能が強ります。

■カウンターメモリー機能を働かす場合、画質/動作設定のメニュースイッチ「カウンターメモリー」を「入」に設定してください。

操作

1. カウンター表示モードを選択します。
・フロントパネルの「表示切換」ボタンを押して、カウンター表示モードをコントロールボタンカウンターまたはリールテープカウンターにします。
2. 停止させたい位置で、[カウンターリセット]ボタンを押してください。
→カウンターが「00:00:00」または「0000」になります。

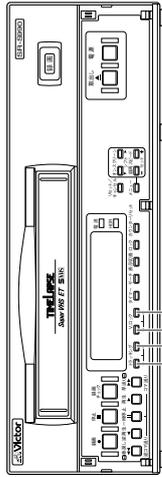
■録画や再生などの操作をします。

3. 停止状態にして、[早送り]ボタンまたは[巻戻し]ボタンを押します。
→カウンターが「00:00:00」または「0000」になると、自動的に停止状態になります。

ご注意

- ・リピート録画/再生時、オートリワインド時およびアラームサーチ/アラームスキャン/日時サーチ時はそれぞれの動作が優先され、カウンターメモリーは働きません。

第7章 再生・特殊再生のしかた (つづき)



[V.パルス(+/-)]ボタン
[トラッキング(+/-)]ボタン

7-7 トラッキング/Vロック調節のしかた

再生/コマ送り再生の画面にノイズがあるときは

本機は次のモードの時、トラッキング調節ができます。

- ・2H (標準)、6H (3倍) およびL12H、L18H、L24H を除くタイムラプスモード再生時
- ・コマ送り再生時

■【トラッキング】 ボタンの+ボタンまたは-ボタンを押し、ノイズがなくなるように調節します。
・トラッキングのプリセットモードに戻すときは+ボタンと-ボタンを同時に押します。

ご注意

L12H、L18H、L24Hリニアスロー再生時、トラッキング調節はできません。

静止面再生中およびタイムラプスモード再生中に画面が上下に揺れるときは

[V.ロック] ボタンの+ボタンまたは-ボタンを押して揺れが止まるように調節します。

7-8 V.パルスについて

画面が乱れるときは、画質/動作設定のメニュースイッチ「V.パルス」を「入」にします。
このメニュースイッチは2H、6H再生モード時のみ有効です。通常は「切」で使用します。

[通常再生 (2H、6H) のみ]

- ・電源同期のカメラ等をスイッチャーで切替えたときなどに、切替え点で画が乱れる場合があります。そのようなときにモニターをロックさせ画が乱れないようにするメニュースイッチです。
- ・静止面再生、タイムラプス再生時は、常にV.パルスが出ています。

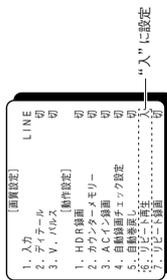
(画質/動作設定画面)



7-5 リピート再生

本機はテープエンドまで再生すると、繰り返しテープの始めから再生を開始するリピート再生を行います。
・リピート再生するときは、画質/動作設定のメニュースイッチ「リピート再生」を「入」に設定してください。

(画質/動作設定画面)



ご注意

- ・メニュースイッチ「リピート再生」や「リピート録画」を「入」に設定しているとき、再生または録画時、テープ始めで停止せずリピート再生またはリピート録画を行います。

7-6 カウンターメモリーについて

本機は早送りや巻戻し状態でコントロールボタンが「00:00:00」またはリールテープカウンターが「0000」になったとき、自動的に停止状態になるカウンターメモリー機能が強ります。

■カウンターメモリー機能を働かす場合、画質/動作設定のメニュースイッチ「カウンターメモリー」を「入」に設定してください。

操作

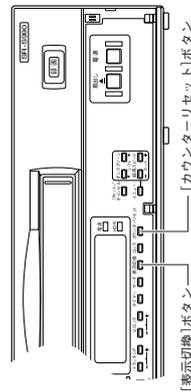
1. カウンター表示モードを選択します。
・フロントパネルの「表示切換」ボタンを押して、カウンター表示モードをコントロールボタンカウンターまたはリールテープカウンターにします。
2. 停止させたい位置で、[カウンターリセット]ボタンを押してください。
→カウンターが「00:00:00」または「0000」になります。

■録画や再生などの操作をします。

3. 停止状態にして、[早送り]ボタンまたは[巻戻し]ボタンを押します。
→カウンターが「00:00:00」または「0000」になると、自動的に停止状態になります。

ご注意

- ・リピート録画/再生時、オートリワインド時およびアラームサーチ/アラームスキャン/日時サーチ時はそれぞれの動作が優先され、カウンターメモリーは働きません。



[表示切換]ボタン [カウンターリセット]ボタン

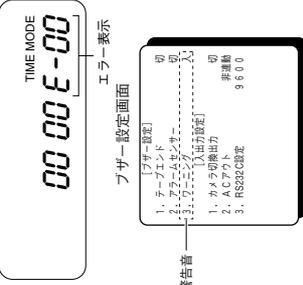
第8章 トラブル時の対応

8-1 エラー表示の出るトラブル

本機は、カセットの取出し、テープローディング、アンローディングおよびメカ的回転動作で異常があった場合、ディスプレイにエラー表示をします。

- 本機に異常があった場合、ディスプレイにエラー表示「E-01」をします。(本体表示設定メニュー「E-01」を「入」に設定) (E-01～E-08)
- エラー表示時、背面パネルのWARNING OUT端子より12Vのワーニング信号を出力します。(E-01～E-08)
- プザ-設定画面のメニュー「E-01」を「入」に設定すると異常があったとき警告音が鳴りません。(E-01～E-08および録画時E-11)

※エラー表示や警告音があった場合、もう一度電源を入れ直さないと解除しません。(E-01～E-07の場合)電源を入れ直しても「E-01」を「入」に設定し、エラー表示による故障が考えられますので警告音のビクターサービスマンにご相談ください。



| エラー表示 | 内容 | VTR動作 | 処置 |
|-------|----------------------------|---|---|
| E-01 | ローディング動作異常 | 電源が切れます。 | 【電源】ボタンで電源を入れ直してください。 |
| E-02 | アンローディング動作異常 | 電源が切れます。 | 【電源】ボタンで電源を入れ直してください。 |
| E-03 | サブタイトル回転異常 | 電源が切れます。 | 【電源】ボタンで電源を入れ直してください。 |
| E-04 | ドラム回転異常 | 電源が切れます。 | 【電源】ボタンで電源を入れ直してください。 |
| E-05 | テークアップリール回転異常 | 電源が切れます。 | 【電源】ボタンで電源を入れ直してください。 |
| E-06 | キャプスタン回転異常 | 電源が切れます。 | 【電源】ボタンで電源を入れ直してください。 |
| E-07 | イジェクト動作異常 | 電源が切れます。 | 【電源】ボタンで電源を入れ直してください。 |
| E-08 | つゆ付き | 電源を入れたまま、エラー表示が消えるまで待ってください。 | 電源を入れたまま、エラー表示が消えるまで待ってください。 |
| E-09 | 録画チェックエラー (録画不良) | VTR内部のヘッドクリーニングをスタートをクリーニングします。 | ヘッドクリーニングでヘッドを清掃してもう一度、録画の品質を確認してください。テープの不具合も考えられますので、テープを交換しても再確認してください。再確認でも画質が悪い場合は、お買上げ販売店がお近くのビクターサービスマンにご相談ください。 |
| E-10 | 時計、タイムバッキングアップ用内蔵バッテリー容量不足 | 停電がある時、時計、タイム設定、内蔵バッテリー設定がリセットされることがあります。 | 内蔵バッテリーの交換は最寄りのビクターサービスマンにご相談ください。 |
| E-11 | ビデオ信号が入力されていない。 | — | ビデオ信号を入力してください。 |
| E-12 | EEPROMに書き込みできない。 | — | 最寄りのビクターサービスマンにご相談ください。 |
| E-13 | テープ切れ | カセットをイジェクトします。イジェクト中のみエラー表示します。 | カセットを交換してください。 |
| E-08 | システムエラー | 電源が切れます。 | 最寄りのビクターサービスマンにご相談ください。 |
| E-09 | システムエラー | 電源が切れます。 | 最寄りのビクターサービスマンにご相談ください。 |

※本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源を切って電源プラグをコンセントから抜いて、再度差し込み動作を確認してください。

第8章 トラブル時の対応 (つづき)

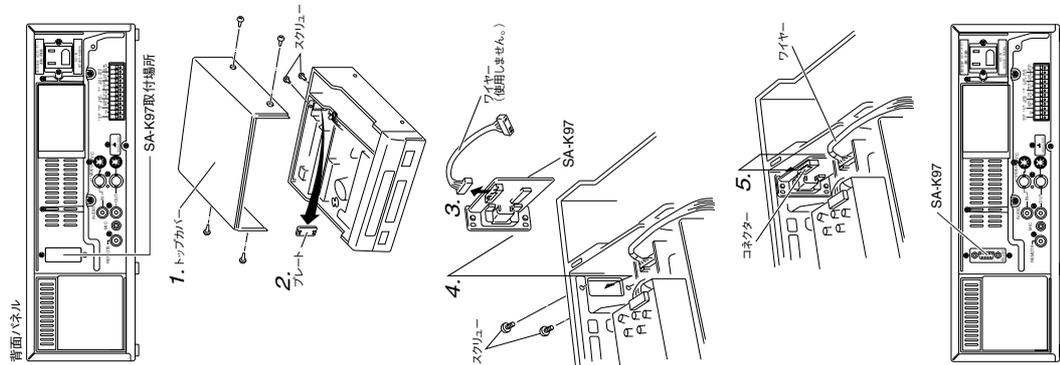
8-2 エラー表示の出ないトラブル

| 症状 | 原因 | 処置 | 参照ページ |
|--------------------------------------|---|---|-----------------|
| 電源が入らない。 | ・電源コードがはずれていませんか。 ・TIMER表示が点灯していませんか。 ・オペレーションロック状態になっていませんか。 | ・電源コードを100Vコンセントへ差し込んでください。 ・タイマーボタンを押して、TIMER表示を消してください。 ・オペレーションロックを解除してください。 | ・11 ・9 ・3 |
| 録画・再生中、操作ボタンを押しても操作できない。 | ・オペレーションロック状態になっていませんか。 ・TIMER表示が点灯していませんか。 | ・オペレーションロックを解除してください。 ・タイマーボタンを押してTIMER表示を消してください。 | ・3 ・9 |
| 再生中画面像がでない。 | モニターTVは正しく接続されていますか。 | モニターTVを正しく接続してください。 | 13～14 |
| シャトルサーチャ、静止画再生、コマ送り再生時に、画面にノイズが出る。 | 故障ではありません。 | — | — |
| 再生画面の一部にノイズが出る。 | トラッキングは合っていますか。 | きれいになるようトラッキングボタン/ボタンで調節してください。 (L12H、L18H、L24H再生時、トラッキング調節できません。) | ・51 |
| L12H、L24HまたはL18Hモード再生時、画面にノイズが出る。 | L12H、L24H、L18H以外のモードで記録したテープを再生していませんか。この場合、ノイズが出ます。 | — | ・45 |
| 再生すると、ザラザラした画面になったり、画面が消えてしまう。 | ビデオのヘッドにゴミがたまっているかもしれません。 | 市販のヘッドクリーニングテープで清掃してください。それでも画質が悪い場合はお買い上げの販売店か、お近くのビクターサービスマンにご相談ください。 | — |
| 再生中音声が聞こえない。 | L12H、L18H、L24H以外のタイムラプスモードで録画していませんか。この場合、音声は録音されていません。 | 音声録音されているテープをご使用ください。(L12、L18、L24Hモードで記録してください。) | ・27 |
| 再生時、音程が高く聞き取れない。 | L12H、L18HまたはL24Hタイムラプスモードで録画したテープを2H(SP)モードで再生していませんか。この場合、音程が高くなります。 | 録画時のモードと同じモード(L12H、L18HまたはL24H)で再生してください。 | ・45 |
| 録画ができない。 | カセットのツメはついていませんか。 | ツメのないカセットは、ツメの部分にゼロハンテープを貼ってください。 | ・7 |
| タイムメニュー録画ができない。 | 時計と録画予約は正しくセットされていますか。TIMER表示が点灯していませんか。 | もう一度確かめてください。 | ・18 ・9 |
| 時計合わせができない。 | TIMER表示は点灯していませんか。 | タイマーボタンを押して、TIMER表示を消してください。 | ・9 |
| 録画・再生、早送り、巻戻し中にテープ走行音がする。 | ビデオは、モーターや回転ヘッドをつたってテープに記録・再生していませんので、使用中は走行音がしますが、これは正常です。 | — | — |
| タイムメニュー表示されない。 | ・時刻設定はされていますか。 ・モニター表示設定のメニュー「E-01」に「入」に設定していませんか。 | ・時刻を設定してください。 ・モニター表示設定のメニュー「E-01」に「入」に設定してください。 | ・18 ・22 |
| 録画時、オートREWやリピード録画できない。 | ・アラームセンター録画設定のメニュー「E-01」に「入」に設定していませんか。 ・入出力設定のメニュー「E-01」に「入」に設定していませんか。 | ・メニュー「E-01」に「入」に設定してください。 ・メニュー「E-01」に「入」に設定してください。 | ・23 ・25 |
| カメラが切りかわらない。 | ・動作設定メニュー「E-01」に「入」に設定していませんか。 | ・外部録画でリピード録画しない場合は「リピード録画」を「切」にして、「自動巻戻し」を「入」に設定してください。 | ・43 |
| VHSテープに録画した内容が他のVHSビデオデッキで正常に再生できない。 | ・本機でVHSテープに録画すると、自動的にS-VHS EX録画になります。 | ・本機がS-VHSまたはHS-VHS簡易再生機能(SOP)付きのビデオデッキで再生してください。(一部のビデオデッキでは再生できない場合があります) | — |

第9章 (別売) SA-K97 RS-232C インターフェイスボード

本機に別売のRS-232CインターフェイスボードSA-K97を装着することにより、本機・フロントパネルでの操作内容をパーソナルコンピュータでコントロールできます。同時に各種ステータスを読み出すことができます。

9-1 SA-K97 の取付け



取付手順は以下の通りですが、感電や、けがの恐れがありますので、資格のある方、またはビクターサービス窓口にご相談してください。

⚠注意

感電する可能性がありますので、SA-K97を取付ける前に電源コードをコンセントから外し、電源を切ってください。

1. トップカバーを外します。

⚠注意

トップカバーを外すときカバーの端面で手などをけがさないように注意してください。

トップカバー一面使用スクリュー4本を外し、トップカバーを外します。

2. VTRのプレートを外します。

背面パネルの2本のスクリューを外し、VTRの内側からプレートを外します。

3. SA-K97のワイヤーを外します。

※SA-K97のワイヤーは使用しません。

4. VTRにSA-K97を取付けます。

図の様な向きにして手順2. で外したスクリューでSA-K97の取付板をVTRに固定します。

5. VTRのワイヤーをSA-K97のコネクターに接続します。

- ・コネクターの向きを確認して、挿入してください。
- ・コネクターの両端を押して、確実に挿入してください。

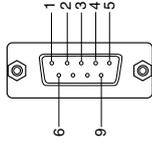
6. トップカバーを本体に取付け、手順1. で外したスクリュー4本で固定します。

第9章 (別売) SA-K97 RS-232C インターフェイスボード (つづき)

9-2 SA-K97仕様

9ピンコネクター仕様

| Pin No | 信号 | 動作 | 信号の方向 |
|--------|-----|------------|-----------|
| 2 | RXD | 受信データ | VTR ← CPU |
| 3 | TXD | 送信データ | VTR → CPU |
| 4 | DTR | データ端末レディ | VTR → CPU |
| 5 | GND | 信号接地 | |
| 6 | DSR | データセット・レディ | VTR ← CPU |



出力レベル
ON : +5V以上
OFF : -5V以下

データ形式

- ・モード : 非同期
- ・キャラクタ長 : 8ビット
- ・データ速度 : 600, 1200, 2400, 4800, 9600bps
(オンスクリーンメニューで切り換え、工場出荷時設定: 9600bps)
- ・パリティチェック : なし
- ・ストップビット : 1ビット

構成



9-3 RS-232C プロトコル & コマンド

RS-232C プロトコル

本機は下表に示すJVCテープヘッドコマンドの他にJVCベータヘッドコマンドが有ります。下表の[]部のコマンドはJVCテープ1とJVCベータヘッドコマンドの両方に有るコマンドです。JVCベータヘッドコマンドには[]以外のコマンドは有りません。

JVC テープヘッドコマンド表

| 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | A | B | C | D | E | F |
|---|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|-----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 0 | COMPLETION | ERROR | CASSETTE OUT | NOT TARGET | ALARM INPUT | ACK | NAK | | | | | | | | |
| 1 | Data "0" | Data "1" | Data "2" | Data "3" | Data "4" | Data "5" | Data "6" | Data "7" | Data "8" | Data "9" | PLAY | REV PLAY | PLAY | REV PLAY | STOP |
| 2 | ENTER | CLEAR ERROR | PRGCLK | SHFT+ | SHFT- | ONSCREEN ON | ONSCREEN OFF | ROM VER | POS+ | POS- | ONSCREEN SELECT | SEARCH (VISS) | | | |
| 3 | TIMER ON | TIMER OFF | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) |
| 4 | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) |
| 5 | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) |
| 6 | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) |
| 7 | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) |
| 8 | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) |
| 9 | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) |
| A | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) |
| B | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) |
| C | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) |
| D | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) |
| E | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) |
| F | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) | SEARCH (VISS) |

第9章 (別売) SA-K97 RS-232C インターフェースボード (つづき)

9-3 RS-232C プロトコル&コマンド (つづき)

ここでは、SR-S990をRS-232Cでコントロールするためのプログラムを作られる方を対象に書かれています。

コマンド解説

準備

- ※以下のコマンドを使用するために準備をして下さい。
- JVC TABLE 1 "ON" コマンド (F6H) を VTRI に送って下さい。(電源投入時、"ON" 状態です。)
 - VTRI は ACK (0AH) を返します。
 - JVC TABLE 1 "OFF" コマンド (F7H) を送るまで、VTRI は次に説明するコマンドを受け付けます。

VTRI 操作コマンド

次の (1) から (12) まではハイライトで完了するコマンドです。VTRI は ACK (0AH) を返しますので ACK を確認してから次のコマンドを送ってください。

- POWER ON (7BH) : VTR の電源 "ON"。
OFF (7CH) : VTR の電源 "OFF"。
- PLAY (3AH) : 再生。
- STILL (4FH) : 一時停止。
- STOP (3FH) : 停止。
- FF (ABH) : 早送り。VTR が再生中は早送り再生になります。
- REW (ACH) : 巻戻し。VTR が再生中は巻戻し再生になります。
- REV PLAY (4AH) : 一時低速再生。
- TIMER ON (60H) : タイマー "ON"。
OFF (61H) : タイマー "OFF"。
- OPE LOCK ON (69H) : オペレーションロック "ON"。
OFF (6AH) : オペレーションロック "OFF"。
- EJECT (A3H) : テープ取出し。
VTRI は ACK を返した後、テープ取出しが出たが完了すると CASSETTE OUT (03H) を返します。
- F-FIELD STEP (ADH) : VTR が一時停止モードの時、FWD 方向に 1 フィールドコマンドを送り、一時停止になります。
- R-FIELD STEP (AEH) : VTR が一時停止モードの時、REV 方向に 1 フィールドコマンドを送り、一時停止になります。
- REC CHECK (C1H) : 録画チェックを行います。(機能は本体操作ボタンの内容と同じです。)

次の (14) および (15) は直前に REC/DUB REQUEST (FAH) を送り、VTRI から ACK (0AH) を確認した後に送ってください。

- REC (CAH) : 録画を開始します。- VTRI からは ACK (0AH) が返されます。ただし、テープのツメ (REC TAB) が折れていると、-NAC (0BH) が返されます。
● 録画モード時、REC PAUSE (FAH + CBH) を送ると、録画一時停止モードになります。
● 録画一時停止モード時、STOP (3FH) を送ると停止状態になります。
- REC PAUSE (CBH) : 録画一時停止モードになります。- VTRI からは ACK (0AH) が返されます。ただし、テープのツメが折れていると、-NAC (0BH) が返されます。
● 録画一時停止モード時、REC (FAH + CAH) を送ると、録画を開始します。
● 録画一時停止モード時、STOP (3FH) を送ると停止状態になり、録画一時停止が解除されます。

第9章 (別売) SA-K97 RS-232C インターフェースボード (つづき)

9-3 RS-232C プロトコル&コマンド (つづき)

次の (16) 及び (17) のコマンドは、コマンドを送った後に 1 バイトの数字データ (30H から 39H) 及びデータ入力コマンド (40H) を送ってください。

数字データの 30H から 39H は、入力したい数字の 0 から 9 に対応します。

(0:30H, 1:31H, …, 9:39H)

なお、データ及びデータ入力コマンドは VTR からの ACK (0AH) を確認してから送ってください。

※ (16)、(17) のコマンドは、停止モードから実行してください。

- VISS FWD (BOH) : テープ上の希望のアラーム点に正方向にサーチします。
アラーム点は後述の 2 バイトの数字データで指定します。
 - VISS REV (BIH) : 現在のテープの位置からテープの希望のアラーム点に逆方向にサーチします。
アラーム点は後述の 2 バイトの数字データで指定します。
- 例) 現在のテープ位置から正方向に 3 ケめのアラーム点をサーチします。



VTRI は ACK を返した後、サーチを開始し、希望の地点が見つかったと、COMPLETION (01H) を返します。希望の地点が見つかる前にテープの始端または終端に達すると、NOT TARGET (05H) を返します。
※ 30H90H、30H31H はどちらも 1 ケめのアラーム点をサーチします。

(18) のコマンドは、コマンドを送った後に、2 バイトの数字データ (30H から 39H)、データ入力コマンド (40H)、及び (FF (ABH) または REW (ACH)) を送ってください。送信した VTRI から ACK (0AH) を確認しながら 1 バイトずつ送ってください。
※ 停止モードから実行してください。

- VISS SEARCH (B3H) : テープ上の希望のアラーム点にサーチします。

VTRI は ACK を返した後、サーチを開始し、希望の地点が見つかったと、COMPLETION (01H) を返します。希望の地点が見つかる前にテープの始端または終端に達すると、NOT TARGET (05H) を返します。
このコマンドはアラーム点へのサーチをさせる点で (16)、(17) のコマンドと同じですが、コマンドの中に FF (ABH) または REW (ACH) を含む点が違います。

VTR 各種設定コマンド

記録/再生モード設定コマンド、タイムラプス VTR 操作モード設定コマンド、日付時刻設定コマンド、タイム設定コマンド、オンスクリーン設定コマンド、その他のコマンドがあります。

記録/再生モード設定コマンド
種別が異なります。

(1) MODE SHIFT (7DH) : 記録/再生モードを順次切換えます。どのモードになっているかは、後述の TL STATUS SENSE (D6H) で確認出来ます。

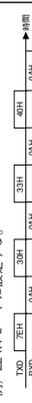
切換えは VTR からの ACK (0AH) を確認しながら 1 バイトずつ送ってください。

(2) MODE (7EH) : 記録/再生モードをダイレクトに設定します。MODE (7EH) を送った後に、数字データ (30H から 39H) を 2 バイト、データ入力コマンド (40H) を送り、数字データと記録/再生モードとの対応は次のとおりです。

| モード | 先行バイト | 後続バイト | モード | 先行バイト | 後続バイト |
|-------|-------|-------|------|-------|-------|
| 2H | 30H | 30H | 72H | 30H | 35H |
| 6H | 30H | 31H | 84H | 30H | 37H |
| *L12H | 30H | 32H | 120H | 30H | 38H |
| *L18H | 30H | 32H | 168H | 30H | 39H |
| *L24H | 30H | 33H | 240H | 30H | 31H |
| 24H | 30H | 36H | 480H | 30H | 31H |
| 48H | 30H | 34H | 960H | 30H | 33H |

() : HDR 録画 "切" 時のみ可
* : HDR 録画 "入" 時のみ可

例) L24H モードに設定する。



タイムラプス VTR 操作モード設定コマンド

(1) TL STATUS SET (86H) : タイムラプス VTR の操作モードを 3 バイトのデータで設定します。
VTR からの ACK (0AH) を確認しながら 1 バイトずつ送ってください。

第 1, 2, 3 バイトの設定内容は次の通りです。

| BIT | 第1バイト |
|-----|---------------------------------|
| 0 | リビート録画機能が ON |
| 1 | 未使用 |
| 2 | ACイン録画 (外部タイマーや停電復帰後の自動録画) が ON |
| 3 | オートリワインドが ON |
| 4 | オフタイム録画機能が ON |
| 5 | 録画時のタイムラプスモードが ON |
| 6 | アラーム録画機能が ON |
| 7 | アラーム録画機能が ON |

| BIT | 第2バイト |
|-----|-------------------|
| 0 | リビートの時の内容 |
| 1 | 未使用 |
| 2 | アラーム録画機能が ON |
| 3 | 未使用 |
| 4 | 外部機器からの自動録画機能が ON |
| 5 | 未使用 |
| 6 | 未使用 |
| 7 | ワーニングブザーが ON |

| BIT | 第3バイト |
|-----|------------|
| 0 | リビートの時の内容 |
| 1 | 未使用 |
| 2 | ACアクトが運動 |
| 3 | 未使用 |
| 4 | HDR録画が ON |
| 5 | 自動録画機能が ON |
| 6 | 未使用 |
| 7 | 未使用 |

第9章 (別売) SA-K97 RS-232C インターフェイスボード (つづき)

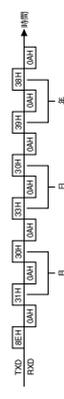
9-3 RS-232C プロトコル & コマンド (つづき)

VTR 各種設定コマンド (つづき)

日付・時刻設定コマンド

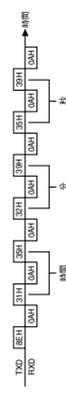
- (1) 日付設定(8FH) : VTRに現在の日付(月・日・年)を設定します。このコマンド(8FH)を送った後、1バイトの数字データ(30H-39H)を入力します。

(例) 10月30日1998年



- (2) 時刻設定(8FH) : VTRに現在の時刻(時間・分・秒)を設定します。このコマンド(8FH)を送った後、1バイトの数字データ(30H-39H)を入力します。

(例) 15時29分59秒



タイムイ設定コマンド

- (1) PRG/CLK(62H) : タンデムプログラムモードに入ります。
 (2) SHIFT-(64H) : 設定項目をシフトします。(ー)
 + (63H) : 設定項目をシフトします。(+)
 (3) SET-(66H) : シフト動作終了後、設定内容を選択します。
 + (65H) : シフト動作終了後、設定内容を選択します。
 (4) CANCEL(67H) : プログラム設定時に内容のキャンセル、キャンセルプログラム設定時に内容と同じです。
 設定方法はVTR本体操作パネルでの設定方法と同じです。
 送信は1バイトごと(VTRからのACK(OAH)を確認しながら)行なって下さい。

オンスクリーン設定コマンド

- (1) ON SCREEN ON(70H) : オンスクリーン表示をします。
 OFF(71H) : オンスクリーン表示を消します。
 次の(2)のコマンドはVTR本体操作パネルでの設定方法と同じです。
 VTRからのACK(OAH)を確認しながら1バイトずつ送って下さい。
 (2) ON SCREEN SELECT(74H) : オンスクリーン表示内容を切替えます。
 ● POSV+(73H) : オンスクリーン表示を縦方向に移動します。(垂直位置)
 ● POSH+(75H) : オンスクリーン表示を横方向に移動します。(水平位置)

その他の設定コマンド

- (1) AL/PL RESET(E1H) : アラーム記録中、このコマンドを送ると元の記録モードに戻り本体のAL表示が消灯します。AL表示が消灯時このコマンドを送るとアラーム/パワーロスメモリー内容/回数リセットします。
 (2) COUNT RESET(E2H) : テープカウンタ数値を0000にリセットします。

コマンドを送ると、VTRはコマンドに対応した情報を返します。

VTR各種情報収集コマンド

- (1) DATE SENSE(BEH) : VTR内に設定されている月・日・年を6バイトで返します。各バイトは30Hから39Hの値で30Hが数字の0に39Hが数字の9に対応します。
 (例) 10月14日・98年の場合、31H、30H、31H、34H、39H、38Hと返します。)
 (2) TIME SENSE(BFH) : VTR内に設定されている時間・分・秒を6バイトで返します。各バイトは30Hから39Hの値で30Hが数字の0に39Hが数字の9に対応します。
 (例) 15時30分45秒の場合、31H、35H、33H、30H、34H、35Hと返します。)
 (3) COUNT CODE(D0H) : VTRはカウンター値をカウンターの4桁めから4バイトで返します。
 各バイトは30Hから39Hの値で、30Hが数字の0に39Hが数字の9に対応します。
 (例) 1234の場合、31H、32H、33H、34Hと返します。)
 (4) DEVICE TYPE(D1H) : SR-S990の型名の下4文字をASCIIコードで返します。
 (5) VTR INQ(FBH) : 接続されている機器がVTRであることとを調べたためのコマンドで、VTRはACK(OAH)を返します。
 (6) PL/AL COUNT SENSE(D5H) : アラーム入力回数を3桁めから3バイト、パワーロスの回数を3桁めから3バイトで各各6バイトのデータをVTRは連続して返します。
 各バイトは30Hから39Hの値で、30Hが数字の0に39Hが数字の9に対応します。
 (例) アラーム入力回数が123回、パワーロスが45回の場合、31H、32H、33H、34H、35Hと返します。)
 (7) HOUR METER SENSE(D2H) : アワーメーターの数字を4バイトの数字データで返します。
 (例) 1234の場合、31H、32H、30H、33H、34Hと返します。)
 (8) TL STATUS SENSE(D6H) : VTRはタイムラプスモード関連のデータを6バイト連続して返します。
 各バイトの意味は次のとおりです。

| |
|---|
| 第1, 2バイト : 録画/再生時間モード |
| バイトと録画/再生時間モードデータの対応はMODE(7EH)と同じです。(参照: 57ページ) |

| | |
|-----------------|---------------------|
| 第3バイト : 各種設定の状態 | |
| BIT | BITが1の時の内容 |
| 0 | 電源が"ON"です。 |
| 1 | ACイン録画モードが"ON"です。 |
| 2 | オートリワインドモードが"ON"です。 |
| 3 | オペレーションロックが"ON"です。* |
| 4 | シャッターロックが"ON"です。 |
| 5 | テープエンディングが"ON"です。 |
| 6 | アラームブザーが"ON"です。 |
| 7 | アラームブザーが"ON"です。 |

* オペレーションロックモードでもRS-232Cコマンドによる操作はできます。

第9章 (別売) SA-K97 RS-232C インターフェイスボード (つづき)

9-3 RS-232C プロトコル & コマンド (つづき)

第4バイト : 各種設定及び状態の内容

| | |
|-----|---------------------|
| BIT | BITが1の時の内容 |
| 0 | アラーム録画中です。 |
| 1 | アラーム録画機能が"ON"です。 |
| 2 | 巻戻し機能が"ON"です。 |
| 3 | 外部録画機能が"ON"です。 |
| 4 | 外部録画機能が"ON"です。 |
| 5 | 常時0です。 |
| 6 | ワーニングブザーの設定が"ON"です。 |

第5バイト : 各種設定の状態

| | |
|-----|---------------------|
| BIT | BITが1の時の内容 |
| 0 | 常時1です。 |
| 1 | ACアクトが連動です。 |
| 2 | SAVHSモードがONです。 |
| 3 | 常時0です。 |
| 4 | HDR録画が"ON"です。 |
| 5 | 自動録画エフェクト機能が"ON"です。 |
| 6 | 常時0です。 |
| 7 | 常時0です。 |

第6バイト : ワーニング状態の種類

| | |
|----------|--------------------|
| HEX. データ | ワーニングの種類 |
| 0 | 異常なし |
| 1 | ロードインクエラー |
| 2 | アンロードインクエラー |
| 3 | オフラインエラー |
| 4 | ドラムエラー |
| 5 | テープスラットエラー |
| 6 | キャプスタンエラー |
| 7 | カセットインジェクトエラー |
| 8 | DEW (つゆ付き) センサーエラー |
| 9 | 録画チエックエラー |
| A | パッチリーバックアップエラー |
| B | 入力信号エラー |

- (9) STATUS SENSE(D7H) : VTRの状態を5バイトで返します。

| | |
|----------------|--|
| 第1バイト | BITが1の時の内容 |
| BIT | BITが1の時の内容 |
| 0 Error | 受付不可能なコマンドを受け取ったことを示します。 |
| | 以降他のコマンドを受け付けなくなります。 |
| | このモードを解除するにはCLEAR ERROR (41H) をVTRに送って下さい。 |
| 1 未定義 | 常時0です。 |
| 2 未定義 | 常時0です。 |
| 3 Cassette out | テープがVTRに入っていない状態。 |
| 4 REC inhibit | 記録できないテープが入っています。この場合、記録時のコマンドは受付けません。 |
| 5 未定義 | 常時0です。 |
| 6 未定義 | 常時0です。 |
| 7 未定義 | 常時1です。 |

第2バイト

| | |
|--------------|---------------------------|
| BIT | BITが1の時の内容 |
| 0 Tape End | テープ巻終わりセンサーが検出されています。 |
| 1 Tape Begin | テープ巻始めセンサーが検出されています。 |
| 2 未定義 | 常時0です。 |
| 3 Warning | VTR本体でワーニングが発生しました。* |
| 4 未定義 | 常時0です。 |
| 5 未定義 | 常時0です。 |
| 6 A EE Mode | 外部から入力されている音声信号が出力されています。 |
| 7 V EE Mode | 外部から入力されている映像信号が出力されています。 |

* VTRに異常が発生しワーニングモードになった時、STATUS SENSE(D7H)で返される第2バイトの第3ビットが1になり、ワーニング状態であることを示します。この場合、RS-232Cコマンドでワーニングを解除するにはCLEAR (56H) をVTRに送って下さい。VTRの操作でワーニングを解除するには「電源」ボタンで電源を入れ直して下さい。

第3バイト

| | |
|----------------|--------------------------|
| BIT | BITが1の時の内容 |
| 0 未定義 | 常時0です。 |
| 1 Search Mode | サーチ中です。(VISS) |
| 2 Repeat Mode | リピーター録画中です。 |
| 3 未定義 | 常時0です。 |
| 4 Repeat | 本体のリピーター録画モードがONになっています。 |
| 5 Counter | カウンターメモリ機能がONです。 |
| 6 Timer REC ON | タイマーボタンが押されています。 |
| 7 未定義 | 常時0です。 |

第4バイト

| | |
|-------------|------------------|
| BIT | BITが1の時の内容 |
| 0 未定義 | 常時0です。 |
| 1 REC Mode | 録画中です。 |
| 2 Eject | テープを取り出している最中です。 |
| 3 未定義 | 常時1です。 |
| 4 Stop Mode | 停止中です。 |
| 5 REW Mode | 巻戻し中です。 |
| 6 FF Mode | 早送り中です。 |
| 7 PB Mode | 再生中です。 |

第5バイト

| | |
|------------------|--------------------------|
| BIT | BITが1の時の内容 |
| 0 Speed Code 0 | VTRの現在の走行モードです。次表を参照下さい。 |
| 1 Speed Code 1 | VTRの現在の走行モードです。次表を参照下さい。 |
| 2 Speed Code 2 | VTRの現在の走行モードです。次表を参照下さい。 |
| 3 Speed Code 3 | VTRの現在の走行モードです。次表を参照下さい。 |
| 4 Shuttle REV | 巻戻し再生中です。 |
| 5 Shuttle FWD | 早送り再生中です。 |
| 6 未定義 | 常時0です。 |
| 7 REC Pause Mode | 一時停止中です。 |

第9章 (別売) SA-K97 RS-232C インターフェースボード (つづき)

9-3 RS-232C プロトコル & コマンド (つづき)

| 第5バイト | BIT 0/1/2/3 | "Speed Code"の内容 |
|------------|-------------|-----------------------|
| Speed Code | 32/10 | |
| BIT | 0000 | 一時停止中。 |
| | 0001 | タイムラプス記録中または2H/6H再生中。 |
| | 0101 | タイムラプス記録中または2H/6H再生中。 |
| | 1000 | 7又は13倍速早送り/巻戻し再生中。 |
| | 1001 | 21倍速早送り/巻戻し再生中。 |

(10) ALARM INPUT (06H) : SR-S990からのリターンコードで、録画モード中にアラーム信号が入力されたときに返されます。

その他 (入力したデータの修正/エラー時の対応)

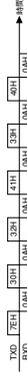
SR-S990からのリターンコードについて (エラー関係のみ)

(1) ERROR (02H) : 複数バイトから成るコマンドの2バイト目以降に、受け付け不可能なコマンドをVTRが受け取るとERROR (02H) を返します。
この時、コマンドを送っても受け付けなくなります。但し、ステータスセンスのみは返されます。
この状態を解除するには、CLEAR ERROR (41H) またはCLEAR (56H) をVTRに送ります。

CLEAR ERROR (41H) インデックスサーチなどの数字の入力の直前の数字データ1バイトを取り消す場合に用い、エラー状態の解除にも使います。

CLEAR (56H) コマンド全体を取消し、VTRを停止させます。現在のモードを解除し、VTRを解除します。エラー状態を解除します。

例) 記録・再生モードをL24Hモードに設定する。
32Hをミスインプットした。
41Hで32Hを取消し、33Hを入力する。



(2) NAK (0BH) : VTRがコマンドを受取る場合、第1バイトで未定義コマンド、またはVTRとして機能を有しないコマンドを受け取った時に返すリターンコードです。この場合、CLEAR は必要ありません。
送ったコマンドがVTRが受け付けるものかどうかチェックして下さい。

RS-232Cコマンドまとめ

| VTR 操作コマンド | ページ |
|---|-------|
| Power ON/OFF Play/REV Play Stop FF/REW | 56ページ |
| Timer ON/OFF OPE LOCK ON/OFF Eject F-Field Step R-Field Step REC Check REC/REC Pause VISS FWD/REV VISS Search | 57ページ |

| VTR 設定コマンド | ページ |
|---|---|
| 記録/再生モード設定 Mode Shift タイムラプス/VTR操作モード TL STATUS DATE SET TIME SET タイムズーム設定 PRG SHIFT + / - SET + / - ONSCREEN ON Screen ON/OFF ON Screen Select OSV + POSH + その他設定 AL/PL Reset COUNT Reset | 57ページ 57ページ 58ページ 58ページ 58ページ |

| 情報収集コマンド | ページ | VTRからのリターン |
|---------------------|-------|------------|
| COUNT Code | 58ページ | 4 byte |
| Device Type | | 4 byte |
| VTR I/O COUNT Sense | | 6 byte |
| Hour Meter Sense | | 4 byte |
| TL Status Sense | 58ページ | 6 byte |
| Status Sense | 59ページ | 5 byte |
| DATE Sense | 58ページ | 6 byte |
| TIME Sense | 58ページ | 6 byte |

| VTR からのリターンコード | ページ |
|-----------------------|-------|
| ACK | 56ページ |
| NAK | 60ページ |
| Error | 60ページ |
| Cassette Out | 57ページ |
| Completion Not Target | 57ページ |
| Alarm Input | 60ページ |
| その他 | ページ |
| JVC Table 1 ON/OFF | 56ページ |

第10章 付録

10-1 テープリールカウンタ/テープ残量時間対応表

下表はテープリールカウンタの値で各録画/再生スピードモード時のテープ残量時間を知るための対応表です。下表はT-120カセットテープを使用した場合のテープ残量時間を示しています。
実際のテープ残量時間は下表とは異なることがあります。あくまでも目安としてお使いください。

[T-120カセットテープ使用時]: テープリールカウンタがテープ頭位置で"0000" の場合のテープ残量時間

| HDR"切" | 録画/再生スピードモード | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|--------------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| | 2H | 6H | L12H | L18H | 24H | 48H | 72H | 84H | 120H | 180H | 240H | 480H | 60H | 240H | 480H | 960H |
| 0 | 2時間2分 | 6時間8分 | 12時間7分 | 18時間28分 | 24時間10分 | 48時間10分 | 72時間4分 | 84時間3分 | 122時間56分 | 172時間6分 | 242時間52分 | 491時間46分 | 383時間30分 | 242時間52分 | 491時間46分 | 383時間30分 |
| 500 | 1時間47分 | 5時間22分 | 10時間11分 | 15時間1分 | 21時間10分 | 42時間10分 | 64時間7分 | 75時間11分 | 107時間25分 | 150時間22分 | 214時間5分 | 429時間42分 | 329時間25分 | 214時間5分 | 429時間42分 | 329時間25分 |
| 1000 | 1時間22分 | 4時間8分 | 8時間4分 | 12時間1分 | 18時間5分 | 37時間4分 | 55時間28分 | 64時間2分 | 95時間11分 | 134時間22分 | 199時間5分 | 418時間46分 | 318時間38分 | 199時間5分 | 418時間46分 | 318時間38分 |
| 1500 | 1時間19分 | 3時間57分 | 7時間55分 | 11時間55分 | 18時間5分 | 37時間4分 | 55時間28分 | 64時間2分 | 95時間11分 | 134時間22分 | 199時間5分 | 418時間46分 | 318時間38分 | 199時間5分 | 418時間46分 | 318時間38分 |
| 2000 | 1時間16分 | 3時間54分 | 7時間52分 | 11時間52分 | 18時間2分 | 37時間1分 | 55時間25分 | 64時間1分 | 95時間10分 | 134時間21分 | 199時間4分 | 418時間43分 | 318時間35分 | 199時間4分 | 418時間43分 | 318時間35分 |
| 2500 | 54分 | 2時間44分 | 5時間19分 | 8時間16分 | 12時間16分 | 24時間15分 | 36時間10分 | 42時間16分 | 63時間26分 | 90時間16分 | 135時間16分 | 270時間16分 | 202時間16分 | 135時間16分 | 270時間16分 | 202時間16分 |
| 3000 | 49分 | 2時間39分 | 5時間14分 | 8時間11分 | 12時間11分 | 24時間10分 | 36時間5分 | 42時間11分 | 63時間21分 | 90時間11分 | 135時間11分 | 270時間11分 | 202時間11分 | 135時間11分 | 270時間11分 | 202時間11分 |
| 3500 | 39分 | 1時間41分 | 3時間16分 | 5時間13分 | 8時間13分 | 16時間12分 | 24時間7分 | 28時間13分 | 42時間13分 | 57時間13分 | 85時間13分 | 170時間13分 | 127時間13分 | 85時間13分 | 170時間13分 | 127時間13分 |
| 4000 | 24分 | 1時間14分 | 2時間29分 | 4時間14分 | 6時間14分 | 12時間13分 | 18時間8分 | 21時間14分 | 32時間14分 | 43時間14分 | 64時間14分 | 128時間14分 | 95時間14分 | 64時間14分 | 128時間14分 | 95時間14分 |
| 4500 | 18分 | 50分 | 1時間11分 | 2時間26分 | 4時間11分 | 6時間6分 | 10時間1分 | 12時間7分 | 18時間1分 | 24時間6分 | 36時間6分 | 72時間6分 | 54時間6分 | 36時間6分 | 72時間6分 | 54時間6分 |
| 5000 | 9分 | 29分 | 56分 | 1時間23分 | 2時間38分 | 5時間37分 | 8時間32分 | 10時間38分 | 16時間38分 | 21時間38分 | 32時間38分 | 64時間38分 | 48時間38分 | 32時間38分 | 64時間38分 | 48時間38分 |
| 5500 | 3分 | 10分 | 21分 | 35分 | 43分 | 86分 | 129分 | 155分 | 231分 | 307分 | 460分 | 920分 | 685分 | 460分 | 920分 | 685分 |
| 5600 | 2分 | 7分 | 14分 | 21分 | 29分 | 58分 | 86分 | 103分 | 155分 | 206分 | 309分 | 618分 | 463分 | 309分 | 618分 | 463分 |
| 5700 | 1分 | 4分 | 8分 | 12分 | 16分 | 32分 | 48分 | 57分 | 86分 | 114分 | 171分 | 342分 | 256分 | 171分 | 342分 | 256分 |
| 5800 | 0分 | 0分 | 1分 | 2分 | 3分 | 6分 | 9分 | 10分 | 15分 | 20分 | 30分 | 60分 | 45分 | 30分 | 60分 | 45分 |
| 5.832 | 0分 | 0分 | 0分 | 0分 | 0分 | 0分 | 0分 | 0分 | 0分 | 0分 | 0分 | 0分 | 0分 | 0分 | 0分 | 0分 |

※・カセットテープをイジェクトすると、テープリールカウンタは"0000" にリセットされます。
・カウンタエンディング出力機能を使っているリピータ録画またはオート録画モード時、テープがテープ頭まで巻戻されると、テープリールカウンタは"0000" にリセットされます。(カウンタエンディング出力機能: マニュアル「カウンタエンディング出力」を「切」以外に設定)

第10章 付録

10-2 背面パネルハローモニカ端子信号について

| 端子 | 信号レベル | 備考 |
|--------------------------------------|-------|---------------------|
| CAM SW OUT カメラ切換 信号出力 | | オープン コレクター 出力 |
| ALARM IN アラーム 信号入力 | | 接地入力 |
| ALARM RST IN アラーム 信号リセット 入力 | | High入力 |
| ALARM REC OUT アラーム録画 モード信号出力 | | High出力 |
| TAPE END OUT テープエンド 信号出力 | | 接地出力 |
| WARNING OUT ワーニング 信号出力 | | High出力 |
| CLOCK RESET IN クロック リセット入力 | | 接地入力 |
| CLOCK RESET OUT クロック リセット出力 | | 接地出力 |
| SERIES REC IN シリーズ録画 信号入力 | | 接地入力 |
| SERIES REC OUT シリーズ録画 信号出力 | | 接地出力 |
| SERIES REC IN 外部自動録画 信号入力 | | 接地入力 |

第10章 付録

10-3 保証とアフターサービスについて

- 保証書の記載内容ご確認と保存について
この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買上げ販売店でお渡しします。保証書は保証期間中に大切に保管してください。大切に保存してください。
- 保証期間について
保証期間は、お買上げ日より1年間です。保証書の記載内容により、お買上げ販売店が修理致します。その他詳細は保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理について
保証期間経過後の修理については、お買上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様の希望により有料にて修理致します。
- アフターサービスについてのお問い合わせ先
アフターサービスについてのご不明の点はお買上げ販売店、または別紙サービス窓口をお問い合わせのうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。

- 修理を依頼されるときは
お買上げ販売店に次のことをお知らせください。

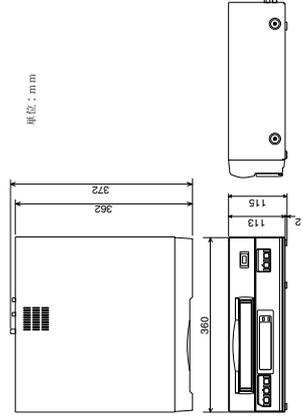
- タイムラプスビデオカセットレコーダー SR-S990
- お名前とお住所
- 電話番号
- 故障症状 (詳しく)

- 廃棄について
この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例にしたがって適切に処理してください。

10-4 仕様

- 記録方法 種別: FM, クロム; 低速変換
- 信号方式 日米標準テレレ方式 (NTSC)
- テープスピード 33.35 mm/s 標準モード (2Hモード)
11.12 mm/s 3倍モード (6Hモード)
- 記録/再生時間 (T-120使用時) 2 (標準) (2H) モード
6 (3倍) (6H) モード
- タイムラプスモード: フォワード記録 (但し、L12L18L24はS-VHSテープ使用時のみ選択可能。)
L12L18L24: 24, 48, 72, 84, 120, 168, 240, 480, 960時間 (タイムラプスモード)
L12L18L24はHDR録画が“切”時、L18HはHDR録画が“入”時可能。
音声の録画/再生はL12L18L24H選択時に可能。
- 巻戻し/送り時間 約4分 (T-120使用時)
- 電源 AC100V 50/60Hz
- 消費電力 18W (待機時4W)
- 電源出力 AC100V 50/60Hz 最大300W
- 外形寸法 運動/非運動切換可
約55 kg (備) 360mmX (高さ) 115mmX (奥行) 372 mm
- 質量 約55 kg
- 許容動作温度 5℃~40℃
- 許容動作湿度 30% RH以上、80% RH以下
- 許容保存温度 -20℃~60℃
- <映像系>
- 信号入力 1.0V(p-p) 75Ω 不平衡 BNC
- 信号出力 1.0V(p-p) 75Ω 不平衡 BNC
- 水平解像度 400本以上
- 映像S/N 45dB以上 (S-VHS2Hモード)
- <音声系>
- トラック数 1 (ノーマル)
- ライン入力 -8dBs 50kΩ 不平衡 RCA
- マイク入力 -67dBs 600Ω 不平衡
- ライン出力 -8dBs 1kΩ 不平衡 RCA
- ライン出力 100 Hz~10 kHz (2Hモード)
- 周波数特性 40dB以上 (2Hモード4%歪率レベル)
- 高周波S/N 0.15%WRMS以下 (2Hモード)
- ワウフラッター

外觀寸法図



※仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。